

予算科目	2 款	総務費	事業名		市政功労者表彰																									
	1 項	総務管理費	総合計画	第 章																										
	1 目	一般管理費		第 節																										
	事業	功労者表彰・礼遇者関係費		()																										
担当部課	総務部秘書広報課		実施計画掲載ページ																											
目的及び事業内容	<p>市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催 																													
取組実績	<p>1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、55名・7団体の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方々に構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、46名・7団体の市政功労者を決定した。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、表彰式を開催した。 日 時：令和6年11月10日（日） 午後2時から 場 所：遊楽館 かなんホール 出席者数：個人29名・5団体17名 (2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																													
成 果	<p>市政のために尽力された方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度別取組実績</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政功労者推薦件数</td> <td>120件 (109名・11団体)</td> <td>81件 (72名・9団体)</td> <td>110件 (105名・5団体)</td> <td>138件 (136名・2団体)</td> <td>62件 (55名・7団体)</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定件数</td> <td>104件 (93名・11団体)</td> <td>65件 (56名・9団体)</td> <td>92件 (87名・5団体)</td> <td>122件 (120名・2団体)</td> <td>53件 (46名・7団体)</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>46名</td> <td>38名</td> <td>48名</td> <td>62名</td> <td>46名</td> </tr> </tbody> </table>						年度別取組実績	R2	R3	R4	R5	R6	市政功労者推薦件数	120件 (109名・11団体)	81件 (72名・9団体)	110件 (105名・5団体)	138件 (136名・2団体)	62件 (55名・7団体)	市政功労者決定件数	104件 (93名・11団体)	65件 (56名・9団体)	92件 (87名・5団体)	122件 (120名・2団体)	53件 (46名・7団体)	表彰式出席者数	46名	38名	48名	62名	46名
年度別取組実績	R2	R3	R4	R5	R6																									
市政功労者推薦件数	120件 (109名・11団体)	81件 (72名・9団体)	110件 (105名・5団体)	138件 (136名・2団体)	62件 (55名・7団体)																									
市政功労者決定件数	104件 (93名・11団体)	65件 (56名・9団体)	92件 (87名・5団体)	122件 (120名・2団体)	53件 (46名・7団体)																									
表彰式出席者数	46名	38名	48名	62名	46名																									
成果に係る評価	<p>受賞者に対し、その功績を讃えることにより、市政の振興と市政への参加意識の高揚が期待できることから、今後も継続して実施する必要がある。 候補者の推薦にあたっては、様々な分野において候補者の掘り起こしを図るため、引き続き市報やホームページでの周知、庁内各課への通知をしていく必要がある。</p>																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	807,000	328,774				328,774																								

予算科目	2 款	総務費	事業名		広聴事業																																																		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																																		
	1 目	一般管理費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																																																		
	事業	広聴事業関係費		(1)	多様な市民ニーズの把握に努める																																																		
担当部課	総務部秘書広報課	実施計画掲載ページ		P 107																																																			
目的及び事業内容		市民からの意見・提案等を市政に反映するため、市政提案、市民意識調査、まちづくり懇談会、動く市長室等を実施し、市民と一体となったまちづくりを進める。																																																					
取組実績		<p>広聴事業を以下のとおり実施した。</p> <p>1 市政提案、陳情・要望、苦情受付</p> <p>2 市民意識調査・・・無作為抽出した3,200人へ調査を実施 調査内容 (1) 広報事業 (2) 市政への関心 (3) 防災対策 (4) SDGs (5) 石巻市での居住 (6) 男女共同参画社会 (7) デジタル社会 (8) スポーツ (9) 環境 (10) 地域福祉 (11) 中心市街地活性化 (12) 公民館機能</p> <p>3 まちづくり懇談会・・・3回実施</p> <p>4 動く市長室・市長室開放デー・・・13回実施</p> <p>5 パブリックコメント・・・3件の計画に対する意見募集</p> <p>6 市政教室・・・2回実施</p>																																																					
成果		<p>市政提案、陳情・要望及び苦情は、市の窓口である当該が一元的に取りまとめ、その後、担当課又は市長が対応方法等を伝えることで、市民が市政をより身近に感じることができ、市政への理解と関心を深めることができた。</p> <p>市民意識調査は、回答を分析し、今後の市政運営の指標として活用することができた。</p> <p>まちづくり懇談会、動く市長室、市長室開放デーは、市民と直接意見交換することで、地域課題や意見・提案を聴くことができ、多様なニーズの把握につながった。</p> <p>パブリックコメントは、市の計画に対する意見を募集し、計画策定に活かすことができた。</p> <p>市政教室は、親子市政教室として開催し、市内の施設などを見学することにより、市政への理解と関心を深めることができた。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">●市政提案</td> <td colspan="2">●陳情・要望</td> <td colspan="2">●苦情</td> <td colspan="2">●市民意識調査</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>件数</td> <td>件数</td> <td>調査</td> <td>調査対象者</td> <td>回収数</td> <td>回収率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>88件</td> <td>30件</td> <td>158件</td> <td>12項目</td> <td>3,200人</td> <td>1,104件</td> <td>34.5%</td> <td></td> </tr> </table> <p>●市民等との懇談会参加者数（活動指標）</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>R6実績</td> <td>懇談会</td> <td>動く市長室</td> <td>開放デー</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>280人</td> <td>372人</td> <td>59人</td> <td>312人</td> <td>1人</td> <td>132.8%</td> </tr> </table> <p>●パブリックコメント</p> <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td>意見件数</td> <td>実施回数</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>3件</td> <td>30件</td> <td>2回</td> <td>40人（保護者17人、子23人）</td> </tr> </table> <p>●市民等との懇談会参加者の市政への関心度（成果指標）</p> <table border="1"> <tr> <td>R6目標値</td> <td>R6実績</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>84.0%</td> <td>92.9%</td> <td>110.5%</td> </tr> </table>				●市政提案		●陳情・要望		●苦情		●市民意識調査		件数	件数	件数	調査	調査対象者	回収数	回収率		88件	30件	158件	12項目	3,200人	1,104件	34.5%		目標値	R6実績	懇談会	動く市長室	開放デー	達成率	280人	372人	59人	312人	1人	132.8%	計画	意見件数	実施回数	参加者数	3件	30件	2回	40人（保護者17人、子23人）	R6目標値	R6実績	達成率	84.0%	92.9%	110.5%
●市政提案		●陳情・要望		●苦情		●市民意識調査																																																	
件数	件数	件数	調査	調査対象者	回収数	回収率																																																	
88件	30件	158件	12項目	3,200人	1,104件	34.5%																																																	
目標値	R6実績	懇談会	動く市長室	開放デー	達成率																																																		
280人	372人	59人	312人	1人	132.8%																																																		
計画	意見件数	実施回数	参加者数																																																				
3件	30件	2回	40人（保護者17人、子23人）																																																				
R6目標値	R6実績	達成率																																																					
84.0%	92.9%	110.5%																																																					
成果に係る評価		<p>動く市長室は、他の行事との同日開催や夜間開催などの工夫に取り組み、参加者の増加につながることができた。また、意見交換で伺った地域課題や意見・提案は、説明や解決に向けて取り組むことで、市政への関心度の向上につながっている。</p> <p>市民意識調査は、市民の関心や意向を市政に反映させるための基礎資料として、各種計画の立案、進行管理及び各種事業の向上につなげており、調査対象者数を増やし多くの回答を得ることができた。</p> <p>市政教室は親子を対象に開催し、将来を担う子どもたちに本市の魅力を感じてもらうことができた。今後も様々な方法で市民の意見や提案を伺い、多様な市民ニーズの把握に努めていく。</p>																																																					
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">予算額</td> <td rowspan="2">決算額</td> <td colspan="4">決算額の財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国（県）支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>773,000</td> <td>621,534</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>621,534</td> </tr> </table>				予算額	決算額	決算額の財源内訳				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	773,000	621,534				621,534																																		
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
773,000	621,534				621,534																																																		

予算科目	2 款	総務費	事業名		情報公開・個人情報保護事業																																										
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																										
	1 目	一般管理費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																																										
	事業	情報公開推進費		(3)	情報公開等による透明性の確保を推進する																																										
担当部課	総務部総務課	実施計画掲載ページ		—																																											
目的及び事業内容		<p>1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。</p> <p>2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。</p> <p>3 審査会 開示決定等に対し審査請求があった場合は、第三者機関である審査会が公平な立場から調査審議し、開示請求者の権利救済を図るとともに、情報公開・個人情報保護制度の運用に関する重要事項について調査審議し、制度の充実・改善を図る。</p>																																													
取組実績		<p>1 開示請求の決定状況</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">開示請求件数</td> <td colspan="6">請求に対する決定等</td> </tr> <tr> <td>開示</td> <td>一部開示</td> <td>不開示</td> <td>不存在</td> <td>その他</td> <td>取下</td> </tr> <tr> <td>情報公開</td> <td>132件</td> <td>41件</td> <td>76件</td> <td>3件</td> <td>6件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>個人情報</td> <td>47件</td> <td>17件</td> <td>19件</td> <td>1件</td> <td>10件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>2 審査請求の状況 0件</p> <p>3 情報公開・個人情報保護審査会の開催状況 令和6年度においては案件がなく、開催しなかった。</p> <p>4 情報公開コーナーの利用状況</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">利用件数</td> <td colspan="3">利用件数の内訳</td> </tr> <tr> <td>行政資料等の閲覧（うち行政資料等の複写）</td> <td colspan="2">その他相談等</td> </tr> <tr> <td>799件</td> <td>628件</td> <td colspan="2">(522件)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">171件</td> </tr> </table>				開示請求件数	請求に対する決定等						開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下	情報公開	132件	41件	76件	3件	6件	0件	個人情報	47件	17件	19件	1件	10件	0件	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の閲覧（うち行政資料等の複写）	その他相談等		799件	628件	(522件)				171件	
開示請求件数	請求に対する決定等																																														
	開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下																																									
情報公開	132件	41件	76件	3件	6件	0件																																									
個人情報	47件	17件	19件	1件	10件	0件																																									
利用件数	利用件数の内訳																																														
	行政資料等の閲覧（うち行政資料等の複写）	その他相談等																																													
799件	628件	(522件)																																													
		171件																																													
成果		<p>1 情報公開 公文書の開示については、請求件数は132件で前年度より27件減少し、開示決定に係る所要日数は8.6日程度（決定期限を延長した9件を除いた所要日数は7.2日程度）で条例で定める期限（開示請求のあった日の翌日から起算して14日以内）の範囲内となっている。開示決定を適切かつ速やかに行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。</p> <p>また、情報公開コーナーの利用状況は、全体で799件（行政資料等の閲覧が628件、その他相談等が171件）あり、市民等への情報提供を円滑に行うことができた。</p> <p>2 個人情報保護 個人情報の保護に関する法律に基づき、自己を本人とする保有個人情報の開示・訂正などを請求する権利を保障するとともに、令和5年度に全部改正した石巻市保有個人情報等取扱規程を踏まえ、庁内における個人情報の安全管理措置体制を確立し、保護管理者及び保護担当者向けの研修や保有個人情報保護監査を実施することで、個人の権利利益を保護するためにより適切な個人情報保護制度の運用を図ることができた。</p>																																													
成果に係る評価		<p>情報公開の推進については、公文書開示請求において、情報公開条例や判例等を踏まえながら、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較検討し、統一的な判断基準に基づき、迅速かつ適切な情報公開事務に努めることができた。今後も、市民に必要な情報を公正かつ正確に伝え、市民と行政との信頼関係を深めていく。</p> <p>個人情報の取扱いについては、個人の権利利益が侵害されることのないよう、今後も個人情報の保護に関する法律を遵守し、市が保有する個人情報の適正な管理に努めていく。</p>																																													
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">予算額</td> <td rowspan="2">決算額</td> <td colspan="4">決算額の財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国（県）支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>3,466,000</td> <td>3,243,947</td> <td></td> <td></td> <td>59,580</td> <td>3,184,367</td> </tr> </table>				予算額	決算額	決算額の財源内訳				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	3,466,000	3,243,947			59,580	3,184,367																										
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																										
3,466,000	3,243,947			59,580	3,184,367																																										

予算科目	2 款	総務費	事業名	広報事業																									
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政と共に創るまち																								
	2 目	文書広報費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																								
	事業	広報活動費		(2)	市民の関心を高める情報発信を推進する																								
担当部課	総務部秘書広報課	実施計画掲載ページ		P 108																									
目的及び事業内容		市の現状や施策等各種情報を広く市民へ周知し、市民の市政への理解と関心を高めるため、市報、定例記者会見、ホームページ、SNS等を活用して情報発信する。																											
取組実績		<p>広報事業を以下のとおり実施した。</p> <p>1 「市報いしのまき」発行 (1)発行：12回（毎月1日発行） (2)部数：月62,000部 (3)紙面：全16ページ (4)配布：全戸配布 (5)主な内容 ・市の財政状況 ・各種イベント情報 ・各種行政情報 ・施政方針 ・まちの話題 ・休日等救急当番医 ・子育て支援情報 ・各種検診 ・文化スポーツ行事 ・各種事業の募集</p> <p>2 定例記者会見開催・・・12回開催 3 ホームページ掲載・・・適宜掲載 4 Facebook及びXでの情報発信・・・各129件発信 5 LINEでの情報発信・・・123件発信</p>																											
成果		<p>広報事業を通じて、市民の皆様へ適切に行政情報を発信することができた。ホームページへのアクセス件数は、目標値には届かなかったが実績及び達成率を向上することができた。</p> <p>LINE公式アカウントの友だち数は、前年度から8,863人増加し、目標を達成することができた。また、「伝える」でなく「伝わる」広報となるよう職員研修を実施した。</p> <p>●ホームページアクセス件数（活動指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>8,609,000件</td> <td>6,145,575件</td> <td>71.3%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>8,632,000件</td> <td>6,526,628件</td> <td>75.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>●LINE公式アカウントの友だち数（成果指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>13,000人</td> <td>16,401人</td> <td>126.1%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>24,000人</td> <td>25,264人</td> <td>105.2%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	目標値	実績	達成率	R5	8,609,000件	6,145,575件	71.3%	R6	8,632,000件	6,526,628件	75.6%	年度	目標値	実績	達成率	R5	13,000人	16,401人	126.1%	R6	24,000人	25,264人	105.2%
年度	目標値	実績	達成率																										
R5	8,609,000件	6,145,575件	71.3%																										
R6	8,632,000件	6,526,628件	75.6%																										
年度	目標値	実績	達成率																										
R5	13,000人	16,401人	126.1%																										
R6	24,000人	25,264人	105.2%																										
成果に係る評価		<p>広報内容については、誰もが見やすく分かりやすい内容になるよう努めた。Facebook、X、LINEといったSNSを積極的に活用してイベント情報や行政情報を発信し、適時適切な情報提供ができた。</p> <p>また、動く市長室の参加者や転入者の方々へLINE公式アカウントへの友だち登録を促すチラシ配布などを行った結果、友だち数の大幅な増加につながった。</p> <p>今後も引き続き、広報研修を実施しながら分かりやすく、伝わる情報の発信に努めるとともに、市報、定例記者会見、ホームページ、SNS等を積極的に活用し、市政への理解と関心を深めていただけるよう努力していく。</p>																											
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	43,044,750	43,011,831	32,000		13,616,800	29,363,031																							

予算科目	2 款	総務費	事業名	旧河南給食センター解体事業													
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政と共に創るまち												
	5 目	財産管理費		第 2 節	持続可能な行財政運営の推進												
	事業	普通財産等管理費		(2)	未利用公有財産の有効な活用を図る												
担当部課	総務部管財課	実施計画掲載ページ		-													
目的及び事業内容		老朽化している旧河南給食センターについて、令和5年度より2か年で計画的に解体撤去するもの。															
取組実績		<p>1 令和5年度事業実施状況 (1) 解体設計（石綿含有調査を含む。）を実施した。</p> <p>2 令和6年度事業実績 (1) 解体撤去工事を実施し、解体が完了した。</p>															
成果		<p>年次計画に従い解体撤去工事を実施し、事業が完了した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>旧河南給食センター解体工事設計業務</td> <td>1,996,500円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>旧河南給食センター解体工事</td> <td>32,571,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総事業費</td> <td>34,567,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 主な内容 (1) 既存施設解体実績 (ア) 旧河南給食センター 鉄骨造 平屋建て 568.86㎡ (イ) 車庫棟 鉄骨造 平屋建て 56.80㎡ (ウ) 駐輪場 鉄骨造 平屋建て 26.00㎡ (2) 整地整備実績（外構解体） (ア) アスファルト舗装撤去、コンクリートたき撤去等 (3) 各種調査 (ア) 石綿含有定性分析調査（1検体）、シーリングPCB含有調査等</p>				年度	実施内容	事業費	R5	旧河南給食センター解体工事設計業務	1,996,500円	R6	旧河南給食センター解体工事	32,571,000円		総事業費	34,567,500円
年度	実施内容	事業費															
R5	旧河南給食センター解体工事設計業務	1,996,500円															
R6	旧河南給食センター解体工事	32,571,000円															
	総事業費	34,567,500円															
成果に係る評価		<p>老朽化した施設を解体し、隣接する公共施設を利用する市民が使える駐車場として跡地利用されることで、当該地区の住環境の改善と用地の有効活用が図られた。</p>															
(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	39,000,000	32,571,000		30,900,000		1,671,000											

予算科目	2 款	総務費	事業名		がんばる石巻応援寄附事業																																																	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																																	
	6 目	企画費		第 2 節	持続可能な行政運営の推進																																																	
	事業	がんばる石巻応援寄附関係費		(4)	自主財源の安定的確保を図る																																																	
担当部課	復興企画部ふるさと納税推進課	実施計画掲載ページ		P 111																																																		
目的及び事業内容		各種事業の財源確保のほか、返礼品である地場産品を送付することで本市の魅力を伝えるとともに、市内事業者の販路拡大及び地域経済の活性化を図る。																																																				
取組実績		<p>1 寄附受付方法の拡充 新規に3ポータルサイトと4パートナーサイトを追加し、合計10ポータルサイトと8パートナーサイト及び、現地決済型ふるさと納税「べいふる」、申込用紙により寄附を募集した。</p> <p>2 広報の実施 (1) 各ポータルサイトの特集への掲載、検索運動型広告の強化を行った。 (2) 新聞、雑誌への記事掲載 「文藝文春 ふるさと納税プロジェクト2024」、関東地方の朝日新聞へのタブロイド判広告の折込、Yahoo!への運動型広告の掲載を行った。</p> <p>3 事業者向け研修会及び企業訪問の実施 事業者向け研修会を実施することで、ふるさと納税への認識を高めることができた。市内の企業を訪問し、新規の事業者登録や新規返礼品の登録のお願い及び人気返礼品の在庫確保の呼びかけ等を行った。</p>																																																				
成果		<p>1 寄附受入実績 件数・金額ともに過去最高となり、約20.1億円となった。うちウクライナ人道危機支援寄附が、2,153,000円(361件)、通常のふるさと納税は、2,007,930,480円(129,172件)であった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附件数</td> <td>27,192件</td> <td>42,978件</td> <td>69,950件</td> <td>104,908件</td> <td>129,533件</td> </tr> <tr> <td>寄附金額</td> <td>357,365,754円</td> <td>532,335,930円</td> <td>799,288,949円</td> <td>1,357,130,649円</td> <td>2,010,083,480円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 指標に対する成果 事業者向け研修会や企業訪問等の実施により、取扱返礼品数を増やすことができた。また、寄附受付方法の拡充やポータルサイトにおける検索対策(検索時に返礼品を上位表示する改善)、検索運動型広告の拡大により、年間寄附金額についても目標値を大きく上回ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">指標名</th> <th colspan="2">令和6年度</th> </tr> <tr> <th>取扱返礼品数(活動指標)</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>620品</td> <td>698品</td> <td>112.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>年間寄附金額(成果指標)</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>15億円</td> <td>20.1億円</td> <td>134.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	R2	R3	R4	R5	R6	寄附件数	27,192件	42,978件	69,950件	104,908件	129,533件	寄附金額	357,365,754円	532,335,930円	799,288,949円	1,357,130,649円	2,010,083,480円	指標名				令和6年度		取扱返礼品数(活動指標)	目標値	実績値	達成率				620品	698品	112.6%			年間寄附金額(成果指標)	目標値	実績値	達成率				15億円	20.1億円	134.0%		
年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																	
寄附件数	27,192件	42,978件	69,950件	104,908件	129,533件																																																	
寄附金額	357,365,754円	532,335,930円	799,288,949円	1,357,130,649円	2,010,083,480円																																																	
指標名				令和6年度																																																		
取扱返礼品数(活動指標)	目標値	実績値	達成率																																																			
	620品	698品	112.6%																																																			
年間寄附金額(成果指標)	目標値	実績値	達成率																																																			
	15億円	20.1億円	134.0%																																																			
成果に係る評価		寄附受付方法の拡充や検索運動型広告の活用、新規返礼品の追加等により、金額ベースで前年度と比較し約1.5倍の2,010,083,480円とすることができた。 ふるさと納税においては、総務省の定める「募集に関する経費は寄附額の5割以下、そのうち返礼品調達にかかる経費は寄附額の3割以下」という基準を守りながら、いかにして寄附額を増額させるかということが重要である。「がんばる石巻応援寄附」は、本市の各種事業実施のため欠かせない財源となっており、今後も寄附額増に向け、寄附者が石巻市を応援したいと思えるような地域の魅力の発信、寄附金の使途や効果を明確に伝えていくことも重要と考えている。併せて、市場ニーズを敏感に把握し、より魅力的な返礼品を提供できるよう工夫をしていながらPRを実施し、地域経済の活性化と更なる寄附額の増加を目指す。																																																				
(単位:円)																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	1,202,643,850	1,031,671,334			439,800,000	591,871,334																																																

予算科目	2 款	総務費	事業名		SDGs推進事業																										
	1 項	総務管理費	総合計画	第 2 章	未来都市の実現 ※第4編 地方創生の取組																										
	6 目	企画費		第 1 節	コミュニティを核とした持続可能な地域社会をつくる																										
	事業	SDGs推進関係費		(2)	地域コミュニティによる支え合いを推進する																										
担当部課	復興企画部SDGs移住定住推進課	実施計画掲載ページ		P 112																											
目的及び事業内容		<p>経済・社会・環境の三側面について統合的に取り組み、地方創生の実現に資する持続可能なまちづくりを目指すというSDGsの考えを基礎として、将来にわたって活力ある地域社会の実現を目指す。</p> <p>1 SDGs普及啓発事業 2 グリーンスローモビリティ事業</p>																													
取組実績		<p>1 SDGs普及啓発事業 (1) 職員研修の実施…2回実施し計172名が受講。新規採用職員向けにSDGsの基礎的知識を学び、一般職員向けにはカードゲーム方式で実践的な取組や考え方を学んだ。 (2) いしのまき圏域SDGsパートナー…340件の企業等を新規登録。合計1,172件となった。 (3) SDGsフェス…9月14日～23日の10日間、イオンモール石巻と共催でワークショップ等を実施した。 (4) SDGsビーチクリーン活動…7月15日に長浜海岸の清掃活動を実施し、約130名が参加した。 (5) いしのまき圏域SDGsプロモーションイベント…10月13日にパートナー企業の取組をPRするため女川町で開催し、555名が参加した。 (6) いしのまき圏域SDGsパートナーセミナー…令和7年1月20日に取組事例の紹介や情報共有を目的に開催し、43団体81名が参加した。 (7) SDGs出前講座…小学校などで6回実施し、371名が受講した。</p> <p>2 グリーンスローモビリティ事業 のぞみ野・あゆみ野地区に設置している電動カートについて、高齢者や交通弱者などが買い物や通院、サークル活動などをする際の移動手段として活用した。</p>																													
成果		<p>1 SDGs普及啓発事業 普及啓発事業の取組によりSDGs認知度が向上し、実際に取り組んでいる市民の割合は、前年度の39.9%から40.4%へわずかに増加した。学校教育においてもSDGsに関する探究活動など、様々な取組が行われている。</p> <p>2 グリーンスローモビリティ事業 あゆみ野地区で電動カートによるカーシェアリングの本格運用が始まったが、既に運用しているのぞみ野地区とともに目標とする利用者数には届かなかったものの、対前年度で大きく増加しており、高齢者、交通弱者などが買い物や通院する際の利便性向上に寄与した。</p> <p>利用者数内訳 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>のぞみ野</td> <td>152</td> <td>277</td> <td>78</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>あゆみ野</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>152</td> <td>277</td> <td>83</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>300</td> <td>620</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table>					地区	R3	R4	R5	R6	のぞみ野	152	277	78	133	あゆみ野	—	—	5	189	計	152	277	83	322	目標値	—	300	620	700
地区	R3	R4	R5	R6																											
のぞみ野	152	277	78	133																											
あゆみ野	—	—	5	189																											
計	152	277	83	322																											
目標値	—	300	620	700																											
成果に係る評価		市民や企業に対し、SDGsのセミナーや出前講座のほか、参加型のイベントなどを継続して行ってきたことで認知度の向上が図られており、実際に取り組んでいる市民の割合も確実に向上しているが、令和6年度はその伸びが鈍化した。 SDGsパートナー登録団体は毎年大幅な増加を続けていることから、一般市民に対して大きなインパクトを与える取組を行っている企業・団体の取組を紹介していくとともに、SDGsに取り組んでいない人が関心を持つよう、工夫しながら啓発活動を継続していく。 電動カートの活用について、実際に利用している人からは一定の評価を得ていることから、存在を知らない人や利用したことがない人に対する周知に重点を置き、利用の拡大につなげていく。																													
(単位:円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	5,633,000	4,928,189			122,509	4,805,680																									

予算科目	2 款	総務費	事業名	心の復興事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	6 目	企画費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業	心の復興事業関係費（東日本大震災関係分）		(2)	地域の均衡ある発展を図る		
担当部課	復興企画部復興推進課	実施計画掲載ページ		P11			
目的及び事業内容	東日本大震災で被災された方が、主体的に参加し、人と人のつながりや、生きがいを持ち、安定的な日常生活を営むことができるよう、支援団体等による心の復興に資する事業の実施に対して補助金を交付し、事業を支援する。						
取組実績	16団体が地域特性への対応や、課題解決への取組を行った。 活動内容として、復興公営住宅に入居する高齢者を対象に、農業体験として野菜作りなどを行うことで、地域の子どもから高齢者まで、多世代が交流できる機会を創りだしたほか、復興公営住宅団地と近隣自治会住民を対象とした交流会や介護予防のワークショップなどを開催した。						
	年度		交付団体数	交付額			
	R4		15団体	20,368千円			
	R5		17団体	14,893千円			
	R6		16団体	10,160千円			
成果	地域ごとの課題に応じた各団体の取組や活動に多くの参加者があり、被災者の心身のケア、孤立防止、心身の健康維持、コミュニティ形成の促進等を図ることができた。 また、復興公営住宅集会所でワークショップなどを定期的に開催することで、被災者と近隣自治会住民との地域交流の輪が広がり、孤立を防止する効果などが見られた。						
	年度		参加者実人数	参加者延べ人数			
	R4		7,491人	17,446人			
	R5		9,638人	21,904人			
	R6		6,263人	16,898人			
成果に係る評価	事業実施団体数は目標値どおりであった。参加者数については、令和6年度の目標値とした7,000人を下回る6,263人となったが、地域ごとの課題に応じた各団体の取組や活動の結果、被災者の「孤立防止」や「心身の健康維持」、「コミュニティ形成」を図ることができた。						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	10,800,000	10,160,000	10,160,000				

予算科目	2 款	総務費	事業名	政策コンテスト開催事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち		
	6 目	企画費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進		
	事業	政策推進関係費		(1)	多様な市民ニーズの把握に努める		
担当部課	復興企画部政策企画課	実施計画掲載ページ		P107			
目的及び事業内容	市政への関心や政治への当事者意識を高め、石巻への愛着と定住のきっかけを創出するとともに、コンテスト形式で「若らしい斬新かつ、現実性を備えた政策提案」を競い合い、優秀な提案については今後の政策に反映する。						
取組実績	令和6年度いしのみ政策コンテストについては、「10年後も住みたい石巻はこれだ！～観光で稼げるまちに～」をテーマとして、高校生6チーム、大学生7チームの参加により開催された。 7月27日のキックオフを皮切りに、約3か月にわたり内容の検討を行い、10月13日の決勝大会において各チームから政策が発表された。						
	○実施日程（全体催事） 7月27日 キックオフ 市の概要説明及び提案する政策の土台作り 8月25日 中間チェック 進捗確認、政策案の中間発表、内容のブラッシュアップ 10月13日 決勝大会 各チームの政策提案をコンテスト形式で発表し、5名の審査員により最優秀賞及び優秀賞を決定						
成果	1 参加状況 13チーム、53人 2 提案内容 ◎最優秀チーム N u T S（石巻好文館高等学校） ・PR動画をストーリー仕立てにして作成、クリエイターにキャラクターデザインやアニメーション制作を依頼し、市民にPR動画参加を依頼 ・市内観光スポットを巡るほか、竹あかりやキーホルダー作りなど、カメラマン同伴での体験型ツアーを開催 ◎優秀チーム シマエナガ（石巻高等学校） ・初心者から上級者向けの漁業体験を用意し、獲った魚介類を調理 ・漁師から魚の骨や貝殻を提供いただき、ファミリー層を対象としたストラップアクセサリやスマホケースなどの作成 ・小中高生の夏季休業時の課題選択の一つとして漁業をテーマとした絵画を募集 3 参加者アンケート結果 (1) 石巻市への愛着 87%の参加者が、「強く愛着を感じる」又は「やや愛着を感じる」と回答した。 (2) 石巻市への定住意向 78%の参加者が、「今の場所に住み続けたい」又は「当分の間は住み続けたい」と回答した。 4 提案された各政策の施策への反映 提案された政策については、関係各課と実施可能性について協議、検証を行うとともに、必要に応じて提案した学生と連絡を取る等、施策への反映に向けて検討を行っている。						
成果に係る評価	令和6年度の市民意識調査において、18～29歳の市民で「石巻に愛着がある」と回答した方が57.10%に留まっているが、政策コンテストに参加いただくことで市政への関心が高まり、若者が石巻市に愛着をもってもらえるきっかけの一助になったと考えられる。 また、市民意識調査における定住意向については、「今後も石巻市に住み続けたい」と回答した方が63.58%となっており、本市の課題である若者の市外流出を抑制していく上で、当コンテストはその当事者に市政に参画いただき、直接意見を伺うことができる貴重な機会であるとともに、政策提案を通じて若者が定住を考えるきっかけとなったと考える。						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	600,000	600,000				600,000	

予算科目	2 款	総務費	事業名		LINE公式アカウント活用事業															
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち															
	6 目	企画費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進															
	事業	D×関連事業推進費		(4)	市民サービスの利便性の向上を図る															
担当部課	復興企画部D×推進課	実施計画掲載ページ		P 108																
目的及び事業内容		市民にとって身近なソーシャルメディアであるLINE上で各種行政情報の入手やオンライン手続等を行うことができるように、市LINE公式アカウントの機能を拡張し、利便性向上を図る。																		
取組実績		<p>令和5年に大幅な見直し（ユーザーインターフェースのリニューアルとオンライン手続機能の新設）を行ったLINE公式アカウントを引き続き運用し、イベントや募集に連動して各種情報の導線となるリッチメニュー（トーク画面上に常に表示されるメニュー機能）を随時更新しながら、各行政手続の主管課と調整して、オンライン申請ができる手続を拡充した。また、リッチメニューのリンク先を整理し、市民が必要な情報にアクセスしやすいよう改善したほか、市報2月号への掲載及び庁内や関係施設へポスター掲示等によりLINEで行政手続ができることについて周知した。</p> <p>1 機能拡張により利用可能となっている主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て情報、防災情報、ごみカレンダー、救急当番医情報等のくらしに密着した情報をリッチメニューに常に表示することで、利用者が知りたい情報にスムーズにアクセスできる。 マイナンバーカードを使った公的個人認証による本人確認や、クレジットカードによる手数料等のオンライン決済が可能となり、住民票の写しの交付請求や各種給付金申請等のオンライン手続が実現できる。 <p>2 令和6年度に市公式LINEからオンライン申請が可能となった主な手続</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸籍、印鑑証明、課税（非課税）証明ほか各種証明書の交付請求 産後ケア事業、育児ヘルパー事業の申込ほか妊娠・出産・子育てに関する手続 奨学金返還支援事業、物価高騰対策重点支援金ほか各種事業や給付金の申請 																		
成果		<p>LINE公式アカウントの機能拡張により、市民が必要な情報にアクセスしやすくなるほか、時間や場所を問わずオンライン申請が可能となり、申請者の利便性の向上に寄与した。</p> <p>また、オンライン申請では、申請者に個別にメッセージを送信できるため、職場の都合や運転中で電話に出ることができない方等にとっても、メッセージのやり取りで手続を進めることが可能となり、折り返し電話の手間が削減されることから、利用者の利便性向上、ペーパーレス化、職員の事務効率化に寄与している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標【LINE公式アカウントの友だち数】</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>13,000人</td> <td>16,401人</td> <td>126.2%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>24,000人</td> <td>25,264人</td> <td>105.3%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	成果指標【LINE公式アカウントの友だち数】		達成率	目標	実績	R5	13,000人	16,401人	126.2%	R6	24,000人	25,264人	105.3%
年度	成果指標【LINE公式アカウントの友だち数】		達成率																	
	目標	実績																		
R5	13,000人	16,401人	126.2%																	
R6	24,000人	25,264人	105.3%																	
成果に係る評価		<p>利便性の高い民間アプリ等を活用した行政サービスの提供は全国の地方公共団体で取り組まれており、特にLINEは、総務省が発表した「令和5年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」によると、利用率が10代から50代では9割を超え、60代でも8割台後半の方が使用するなど普及率が高い。</p> <p>令和5年度の運用見直し以降、友だち登録者数の増加が続いており、令和6年度は、産後ケア事業・育児ヘルパー事業・各種給付金等のオンライン申請を実装したことで、友だち登録者数が大きく増加し、LINEを使用したオンライン申請については着実に市民への浸透が図られてきている。</p> <p>更なる利便性の向上を図るため、各種申請のオンライン化について、業務所管課と情報共有しながら進めていきたい。</p>																		
(単位:円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	3,336,244	3,122,908				3,122,908														

予算科目	2 款	総務費	事業名		ICT活用による業務効率化推進事業											
	1 項	総務管理費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち											
	6 目	企画費		第 2 節	持続可能な行政運営の推進											
	事業	D×関連事業推進費		(1)	限られた人材、財源等を最大限活用できる体制を構築する											
担当部課	復興企画部D×推進課	実施計画掲載ページ		P 110												
目的及び事業内容		各種デジタルツールを導入し、全庁的に活用することで、業務にかかる時間及び職員の負担を削減し、効率的・効果的な行政運営を図る。														
取組実績		<p>デジタルツールの活用促進に向けて、操作研修会を開催するとともに、職員向けに各種ツールの利用方法や便利な機能を広く周知し、相談に対応する仕組みを整備した。また、新たなデジタルツールを導入し、運用を開始した。</p> <p>1 導入済みの主なデジタルツール</p> <ul style="list-style-type: none"> LOGOフォーム（ノーコードかつ簡易にオンライン上のアンケート等を作成できるツール） <ul style="list-style-type: none"> ＜活用事例＞アンケート、照会、イベントへの参加申込、庁内公用自動車運転日誌等 ＲＰＡ（パソコン上の定型業務を自動化するデジタル技術） <ul style="list-style-type: none"> ＜活用事例＞放課後児童クラブ申込情報等入力作業 ＡＩ－OCR（スキャナで用紙を読み込みデータ化する作業を省力化できるデジタル技術） <ul style="list-style-type: none"> ＜活用事例＞研修会アンケート集計、申請書・申込書のデータ化 Ａミボイス（文字起こしにより会議録作成の負担軽減を図るツール）【新規導入】 <ul style="list-style-type: none"> ＜活用事例＞会議音声の文字起こし、議事内容の要約 2 操作研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> Ａミボイス操作研修会 5月開催 46名受講 新規採用職員研修 6月開催 25名受講 														
成果		<p>LOGOフォームについては、全庁的に活用が進んでおり、アカウントを付与している全ての課（室）に、アンケート調査を実施し、回答のあった各フォームへの回答数や削減された時間数から推計した結果、全庁で1,881時間の作業時間削減効果があった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標【削減できた作業時間】（LOGOフォーム）</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>1,700時間</td> <td>1,881時間</td> <td>110.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ＲＰＡ及びＡＩ－OCRについては、導入事例は限定的であるものの、導入1業務あたりの業務削減効果が大きい傾向にある。</p> <p>Ａミボイスについては、各種会議や打ち合わせへの積極的な活用が進んでおり、会議録作成の負担軽減に寄与している。</p>					年度	成果指標【削減できた作業時間】（LOGOフォーム）		達成率	目標	実績	R6	1,700時間	1,881時間	110.6%
年度	成果指標【削減できた作業時間】（LOGOフォーム）		達成率													
	目標	実績														
R6	1,700時間	1,881時間	110.6%													
成果に係る評価		<p>令和7年2月に策定した石巻市D×推進計画において「効率的・効果的な行政運営実現のためのデジタル技術やデータの活用」を取組事項に位置付け、各種デジタルツールの活用を進めている。</p> <p>特に、ノーコードで簡易にオンラインのアンケート等を作成できるLOGOフォームについては、未利用課への導入を含めた庁内全体への活用を働きかけた結果、各種アンケートや庁内の照会、公用自動車運転日誌、日程調整等、幅広い用途で活用が進み、集計業務の負担削減に効果を発揮している。</p> <p>ＡＩ－OCRやＲＰＡを十分に活用するには、ツールの仕組みや特徴を理解することに加え、ＢＰＲ（業務の流れを見直すこと）も不可欠であることから、導入へのハードルが高く活用件数は少ない傾向が続いている。庁内の理解を深めるため、デモンストレーションや試験的導入を行うなど、相談に伴走しながら更なる活用に向けて取り組む必要がある。</p>														
(単位:円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	8,341,996	6,840,020				6,840,020										

予算科目	2 款	総務費	事業名		石巻専修大学地域連携助成事業	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	7 目	地域振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出	
	事業	地域活性化関係費		(3)	地域資源を活かした産業を強化する	
担当部課	復興企画部政策企画課	実施計画掲載ページ		P 82		
目的及び事業内容		地域及び行政が抱える課題の解決、地域社会の発展と人材の育成及び学術の振興に寄与することを目的に、石巻専修大学が実施する、本市の課題解決に向けた調査・研究を行う「地域連携事業」、大学が独自に取り組む「研究プロジェクト事業」及び「社会還元事業」を支援する。				
取組実績	1 令和6年度に報告を受けた研究(令和5年度支援事業) 【地域連携事業】 (1) 石巻市SDGsモデル事業グリーンスローモビリティ研究 (2) 石巻市における二ホンジカと車の接触事故の発生要因の解明 (3) 地方創生RPGアプリを活用した郷土理解と地域振興の可能性 (4) 石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の冷凍保管試験 (5) オリーブを活用したオリーブ銀鮭の開発 (6) 石巻市将来都市研究 【研究プロジェクト】 (1) 石巻市の子供の身体組成の特徴と生活習慣との関連性					
	2 令和6年度に支援した研究 【地域連携事業】 (1) 軽自動車改造EVコンバート車の研究 (2) 地方創生RPGアプリを活用した郷土理解と地域振興の可能性 (3) 石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の調理特性 (4) 石巻市における二ホンジカと車の接触事故の発生要因の解明 (5) 石巻市将来都市研究 (6) 石巻市における子供の身体組成と運動機能との関連性 【研究プロジェクト】 (1) 地域資源を活用した低レベル魚粉飼料によるギンザケの成長促進およびストレス耐性強化					
成果	半島沿岸部における移動手段の確保、二ホンジカ起因による交通事故の防止、地方創生RPGアプリの利用率低迷、石巻魚市場に水揚げされる低利用魚や北限のオリーブ等の地域資源の利活用、石巻市立地適正化計画の実施効果の検証等、本市が抱える様々な課題の解決に向けた研究が行われた。 【主な研究成果】 ●石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の冷凍保管試験 適正な冷凍温度及び冷凍期間の知見が乏しいメヒカリやイトヒキダラなどの低利用魚の冷凍保管試験の実施により、低利用魚が一般大衆魚と同様の方法で冷凍保管できるとの結果が示された。適切な保管方法が判明したことで、一般家庭や飲食店でも低利用魚の活用が進んでいくものと期待される。 ●オリーブを活用したオリーブ銀鮭の開発 北限のオリーブの採油粕や枝葉を活用した飼料が銀鮭に与える影響を検証したところ、肉質の改善効果があることが判明した。また、オリーブ素材が持つ効果を引き出すためには、飼料加工時に高温・高圧処理を避けることが必要であると確認できた。オリーブが銀鮭用飼料として有用である可能性が研究により示されたことで、オリーブ銀鮭のブランド価値がさらに高まることが期待される。					
成果に係る評価	本市が抱える課題について、大学が有する専門的な知見を活用することで、市単独では実施困難であったデータの収集と分析が可能となったほか、収集されたデータに基づく多角的な分析が行われ、その研究成果は課題解決に向けた一助となった。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	10,000,000	10,000,000				10,000,000

予算科目	2 款	総務費	事業名		集会所建設費補助事業																															
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																															
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																															
	事業	市民協働推進費		(1)	コミュニティ活動の活性化を図る																															
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P 11																																
目的及び事業内容		町内会その他市長が認める者が行う地域住民のための集会所の建設等整備事業に対して補助金を交付することにより、住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、もって地域社会の健全な発展に資するため、集会所の新築事業及び増築、改築、改装、修繕事業等に対し補助するもの。																																		
取組実績	集会所の修繕・改修に対して石巻市集会所建設費等補助金を交付した。 1 修繕2件 (1) 牧野集公民館 (天井・床修繕、クロス張替え) (2) 谷地集会所 (トイレ改修、照明器具LED化、エアコン設置) 2 下水道接続1件 (1) 谷地集会所																																			
	住民主体のコミュニティ活動の拠点となる地域集会所の老朽化や省エネ対策に伴う建設等整備事業に対し、補助金を交付することで、住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、行政との協働のまちづくりを推進するうえでの環境整備が図られた。 石巻市集会所建設費等補助金 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>対象事業費</th> <th>補助率</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牧野集公民館</td> <td>修繕</td> <td>1,816,276円</td> <td>2/3</td> <td>1,210,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>谷地集会所</td> <td>修繕</td> <td>3,382,600円</td> <td>2/3</td> <td>1,610,000円</td> <td>上限額交付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>下水道接続</td> <td>1,069,558円</td> <td>1/2</td> <td>534,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>6,268,434円</td> <td>—</td> <td>3,354,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						集会所名	事業区分	対象事業費	補助率	補助金額	備考	牧野集公民館	修繕	1,816,276円	2/3	1,210,000円		谷地集会所	修繕	3,382,600円	2/3	1,610,000円	上限額交付		下水道接続	1,069,558円	1/2	534,000円		計		6,268,434円	—	3,354,000円	
集会所名	事業区分	対象事業費	補助率	補助金額	備考																															
牧野集公民館	修繕	1,816,276円	2/3	1,210,000円																																
谷地集会所	修繕	3,382,600円	2/3	1,610,000円	上限額交付																															
	下水道接続	1,069,558円	1/2	534,000円																																
計		6,268,434円	—	3,354,000円																																
成果	石巻市集会所建設費等補助金 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>対象事業費</th> <th>補助率</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牧野集公民館</td> <td>修繕</td> <td>1,816,276円</td> <td>2/3</td> <td>1,210,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>谷地集会所</td> <td>修繕</td> <td>3,382,600円</td> <td>2/3</td> <td>1,610,000円</td> <td>上限額交付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>下水道接続</td> <td>1,069,558円</td> <td>1/2</td> <td>534,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>6,268,434円</td> <td>—</td> <td>3,354,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						集会所名	事業区分	対象事業費	補助率	補助金額	備考	牧野集公民館	修繕	1,816,276円	2/3	1,210,000円		谷地集会所	修繕	3,382,600円	2/3	1,610,000円	上限額交付		下水道接続	1,069,558円	1/2	534,000円		計		6,268,434円	—	3,354,000円	
集会所名	事業区分	対象事業費	補助率	補助金額	備考																															
牧野集公民館	修繕	1,816,276円	2/3	1,210,000円																																
谷地集会所	修繕	3,382,600円	2/3	1,610,000円	上限額交付																															
	下水道接続	1,069,558円	1/2	534,000円																																
計		6,268,434円	—	3,354,000円																																
成果に係る評価	住民主体のコミュニティ活動の拠点である地域集会所は、住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図るため、地域コミュニティを促進する上で重要な施設であることから、制度の周知に努めるとともに、より利用しやすいものとなるよう制度の見直しの検討を行った。今後も地域住民の負担軽減と集会所の長寿命化を図り、地域コミュニティの活性化に繋がるよう、補助金の交付を継続する必要がある。																																			
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	3,354,000	3,354,000				3,354,000																														

予算科目	2 款	総務費	事業名	地域づくり基金助成事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業	市民協働推進費		(2)	地域の均衡ある発展を図る		
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P 12			
目的及び事業内容	地域づくり基金を活用し、市民が行政と協働のまちづくりにより実施する事業や、市全域のまちづくりのために地域コミュニティの活性化を図る事業に対して助成金を交付し、市民の連帯強化や均衡ある地域振興を図る。						
取組実績	16団体より申請があり、一次審査（書面審査）及び外部審査員を含む17人の審査員による二次審査（公開プレゼンテーション）の結果、16団体に助成金を交付した。 【目標値】活動指標：申請件数 18件、成果指標：新規採択団体数 4件 1 新規採択団体数 6件（本庁地区5件、北上地区1件） 2 再採択団体数 10件（本庁地区9件、河南地区1件） 計 採択団体数 16件（本庁地区14件、河南地区1件、北上地区1件）						
成 果	各地域でのイベント開催や地域の自然環境保護など、多様な分野の事業実施を通じて、地域住民同士のつながりを深め、地域振興が図られた。						
	No	採択団体の名称		採択事業の名称			
	1	一般社団法人フードバンクいしのまき		市民から寄せられる食品への対応と食糧提供事業			
	2	いしのまき演劇祭実行委員会		第6回いしのまき演劇祭			
	3	にっこり自治会		にっこり団地環境美化事業			
	4	すばらしい北上運河沿線の自然環境を守る協議会		すばらしい北上運河沿線の自然環境美化活動			
	5	特定非営利活動法人一歩を楽しむ石巻		視覚障害者同士および晴眼者とのネットワーク形成事業			
	6	河南鹿嶋ばやし保存会		河南鹿嶋ばやし伝承事業			
	7	交流農園<<じゃがいも>>		地域を耕し 笑顔を育てる			
	8	石巻登山マラソン実行委員会		第7回石巻登山マラソン			
	9	石巻地区町内会長連絡協議会		石巻地区12町内による盆踊りの開催			
	10	特定非営利活動法人ひたかみ水の里		北上川をめぐる上下流連携事業			
	11	石巻市民公益活動団体 Love is Action		地域の方が自由に集える空間づくり及び心の復興事業			
	12	一般社団法人 I S H I N O M A K I 2.0		石巻一箱古本市2024			
	13	中央正和会		いきいき花のプロジェクト（花いっぱい運動）			
	14	特定非営利活動法人田代島の文化を伝承する会		田代島の文化に関する調査・研究事業			
	15	一般社団法人イトナブ石巻		「みんなのトイレマップ」の周知拡大及び調査事業			
16	一般社団法人りとりと		人と人がつながる G I F T コミュニティをつくらう				
※新規採択団体は、No.3、9、10、11、14、16の6団体である。							
成果に係る評価	活動指標である「申請件数」が目標値である18件に対し、実績は16件と例年並みであったが、成果指標である「新規採択団体数」は目標値である4件に対し、6件と目標を上回った。このことについては、昨年度の周知に対する取組が今回の成果に繋がったものと考えられる。 また、採択団体の活動について、様々な分野における地域活性化及び地域課題解決を図るための取組を行うことにより、地域や世代等の垣根を越えた、新たなコミュニティ形成の構築に繋がるなど、実績報告や参加者の感想から、その有効性が確認できた。 今後とも広く本事業の取組を周知するとともに、新規申請を検討している団体が、よりスムーズに申請できるようにサポートしながら、目的達成のため、引き続き事業を継続する必要がある。						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	4,000,000	3,831,000			3,831,000		

予算科目	2 款	総務費	事業名	国内姉妹都市・友好都市交流推進事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費		(3)	友好都市等との交流を推進する		
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 12			
目的及び事業内容	国内姉妹都市・友好都市と産業・文化・歴史など、各市町の特性を活かした交流事業を通して、相互理解の促進と地域の活性化を図るとともに、両市民の友好協力関係を築き、各市町との連携を深める。						
取組実績	【茨城県ひたちなか市】 ・ひたちなか市誕生30周年記念式典へ出席（茨城県ひたちなか市へ訪問） 実施日：令和6年11月1日（金）、2日（土） 参加者：市長、議長及び市職員5人、寺崎はねこ踊り保存会31人						
	【山形県河北町】 ・さくらんぼ狩りツアー（山形県河北町へ訪問） 実施日：令和6年6月16日（日） 参加者：石巻市民84人、市職員4人						
	・河北町政施行70周年記念式典へ出席（山形県河北町へ訪問） 実施日：令和6年10月1日（火） 参加者：議長、渡邊副市長及び市職員2人						
成 果	・いしのまき大漁まつりへ河北町民を受入 実施日：令和6年10月20日（日） 参加者：河北町民79人、町職員3人						
	【山口県萩市】 両市のマラソン大会の案内を相互に行ったが、参加者なし。						
成果	ひたちなか市と河北町については、交流事業への参加者数が増加し、石巻市民と国内姉妹都市・友好都市の市民・町民との友好関係及び相互理解を促進するとともに、各市町の特性を活かした交流事業を通して、地域の活性化に寄与することができた。						
成果に係る評価	【茨城県ひたちなか市】 隔年で実施している互いの特性を活かした市民交流事業を継続する。また、例年、両市の祭りにて物産展を開催するなど、産業面においても交流事業を継続していく。 【山形県河北町】 相互に訪問するツアーが両市民に好評であることから、さくらんぼ狩りツアー、いしのまき大漁祭り見学ツアーを今後も継続していく。 【山口県萩市】 萩市との交流事業は、進展していない状況であることから、令和8年度の友好都市10周年記念を目標に実施できる交流事業を検討していく。						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,392,000	920,875			302,400	618,475	

予算科目	2 款 総務費		事業名 結婚支援事業													
	1 項 総務管理費		総合計画	第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち												
	7 目 地域振興費			第2節 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進												
	事業 結婚支援事業費			(1) 移住したくなるライフスタイルの形成を図る												
担当部課	復興企画部SDGs移住定住推進課		実施計画掲載ページ	P15												
目的及び事業内容	<p>少子化の要因の一つである未婚・晩婚化の抑制を図る取組として、結婚を希望する者に対して結婚につながる機会や出会いの機会を提供するため、婚活事業・婚活事業を企画実施する団体を支援するとともに、宮城県が設置しているみやぎ結婚支援センターの利用促進を図るため、登録料の一部を支援する。</p> <p>また、経済的な理由で結婚に踏み出せない男女を後押しするため、市内で新生活を始める新婚世帯に対して、結婚生活のスタートアップに係る費用を支援する。</p>															
取組実績	<p>各種補助金の交付を行った。</p> <p>1 結婚等支援事業補助金 婚活事業（結婚につながる機会を提供する事業）及び婚活事業（独身男女の出会いの機会を提供する事業）を実施する団体に対し補助金（婚活事業：上限30万円、婚活事業：上限15万円）を交付した。</p> <p>2 みやぎ結婚支援センター利用促進補助金 登録料の半額（30代以上は登録料11,000円のうち5,500円、20代は登録料5,500円のうち2,750円）を交付した。 なお、本市の登録者数は、令和7年3月31日時点で83人となっている。</p> <p>3 結婚新生活支援事業補助金 若い世代の婚姻に伴う新生活に係る支援を行い、経済的不安の軽減を図るため、対象期間内に婚姻したともに39歳以下の夫婦に対して補助金（夫婦ともに29歳以下：上限60万円、それ以外：上限30万円）を交付した。</p>															
成果	<p>各種補助金を交付したことにより、結婚を希望する独身男女の新たな出会いの場を創出するとともに、新婚世帯に対する住宅賃借費用等の支援を行った。 また、本市のみやぎ結婚支援センター登録者のうち、これまで25人が成婚し退会している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金名称</th> <th>交付件数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結婚等支援事業補助金</td> <td>1件 (婚活事業)</td> <td>210,907円</td> </tr> <tr> <td>みやぎ結婚支援センター利用促進補助金</td> <td>13件 (うち20歳代 3件)</td> <td>63,250円 (うち20歳代 8,250円)</td> </tr> <tr> <td>結婚新生活支援事業補助金</td> <td>29歳以下 48件 30歳以上 5件 合計 53件</td> <td>29歳以下 17,176,000円 30歳以上 1,429,000円 合計 18,605,000円</td> </tr> </tbody> </table>				補助金名称	交付件数	交付金額	結婚等支援事業補助金	1件 (婚活事業)	210,907円	みやぎ結婚支援センター利用促進補助金	13件 (うち20歳代 3件)	63,250円 (うち20歳代 8,250円)	結婚新生活支援事業補助金	29歳以下 48件 30歳以上 5件 合計 53件	29歳以下 17,176,000円 30歳以上 1,429,000円 合計 18,605,000円
補助金名称	交付件数	交付金額														
結婚等支援事業補助金	1件 (婚活事業)	210,907円														
みやぎ結婚支援センター利用促進補助金	13件 (うち20歳代 3件)	63,250円 (うち20歳代 8,250円)														
結婚新生活支援事業補助金	29歳以下 48件 30歳以上 5件 合計 53件	29歳以下 17,176,000円 30歳以上 1,429,000円 合計 18,605,000円														
成果に係る評価	<p>結婚支援事業は、未婚・晩婚化を抑制するなど少子化対策の一環であるとともに、本市への移住・定住者の増加につながる。また、若い世代の経済的不安の軽減にも資するものであることから、事業を継続していく。</p>															
予算の執行状況	(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	45,972,000	18,960,753	12,403,000		6,476,157	81,596										

予算科目	2 款 総務費		事業名 NPO支援推進事業																																	
	1 項 総務管理費		総合計画	第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																
	7 目 地域振興費			第1節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																																
	事業 地域振興関係費			(1) コミュニティ活動の活性化を図る																																
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	—																																
目的及び事業内容	<p>市民公益活動団体の活動支援の拠点として「石巻市NPO支援オフィス」を設置し、市民公益活動団体、市民、企業及び市の連携・交流の場所を提供することにより、NPOの育成・支援を図る。</p> <p>1 NPO支援オフィスの運営管理業務 2 情報収集提供事業 3 研修・カウンセリング事業 4 登録団体実態調査事業 5 協働推進コーディネート事業</p>																																			
取組実績	<p>NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのまきNPOセンターに、石巻市NPO支援オフィスの運営を委託し、利用者の様々なニーズに対応した。</p> <p>1 運営管理業務 (1) 会議室、ロッカー、メールボックスの貸出 (2) 機器利用サービス(コピー機、簡易印刷機、パソコン等の貸出) 2 情報収集提供業務 (1) 市民公益活動情報の収集・提供及び図書資料の管理・貸出 (2) 情報掲示板、団体情報棚、オフィスホームページの管理・更新 (3) 機関紙、メールマガジン及びメーリングリストでの情報発信 (4) 石巻かほく、石巻日日新聞、ラジオ石巻、市報、SNSによる情報発信 3 研修・カウンセリング事業 (1) 相談会等相談対応業務 4 登録団体実態調査事業 (1) 登録団体実態調査及びヒアリング 5 協働推進コーディネート事業 (1) 勉強会、懇談会等の開催支援 (2) 団体設立支援業務</p>																																			
成果	<p>オフィスの運営に当たっては、NPO団体等からの相談等に対応するとともに、様々な媒体を通じて、登録団体の情報発信を積極的に実施し、団体の活動周知を図った。</p> <p>・NPO支援オフィス利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来館者数</th> <th>会議室利用数</th> <th>相談件数</th> <th>図書閲覧者数</th> <th>パソコン利用者数</th> <th>機器利用者数</th> <th>広報等依頼数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>1,171人</td> <td>84件</td> <td>833件</td> <td>2人</td> <td>8人</td> <td>222人</td> <td>434件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,174人</td> <td>74件</td> <td>751件</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>267人</td> <td>396件</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1,179人</td> <td>151件</td> <td>564件</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>231人</td> <td>246件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・石巻市市民公益活動団体……登録数197団体(前年度と同数)「R7.3.31日時点」</p>				区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図書閲覧者数	パソコン利用者数	機器利用者数	広報等依頼数	R4	1,171人	84件	833件	2人	8人	222人	434件	R5	1,174人	74件	751件	0人	4人	267人	396件	R6	1,179人	151件	564件	0人	0人	231人	246件
区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図書閲覧者数	パソコン利用者数	機器利用者数	広報等依頼数																													
R4	1,171人	84件	833件	2人	8人	222人	434件																													
R5	1,174人	74件	751件	0人	4人	267人	396件																													
R6	1,179人	151件	564件	0人	0人	231人	246件																													
成果に係る評価	<p>石巻市総合体育館内に臨時移転し運営を行っていたNPO支援オフィスについては、令和6年8月に石巻市ささあいセンター内に移転し、施設環境とアクセス手段が向上したことにより、会議室の利用数が増加した。 今後も市民公益活動を支える施設として利用を促進し、NPO団体等の育成・支援を図っていく。</p>																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	9,906,000	9,905,300			9,905,300																															

予算科目	2 款	総務費	事業名	地域まちづくり委員会事業																																					
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																				
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																																				
	事業	地域振興関係費		(2)	地域の均衡ある発展を図る																																				
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 12																																					
目的及び事業内容	地域まちづくり委員会は、平成17年4月の合併に伴う市民意識調査の中で、地域の声が届かないという意見があったことから、均衡ある発展及び活性化を図るため、旧町単位で設置したものである。委員会は市長からの諮問に応じて調査及び審議をし、市長へ答申するほか、各地域のまちづくり施策についても検討して、市長へ提案する役割を担っており、地域の活性化に向けた取組を行う。																																								
取組実績	<p>令和6年度地域まちづくり委員会開催等実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>委員数</th> <th>開催数</th> <th>検討数</th> <th>市長提案数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北</td> <td>14人</td> <td>2回</td> <td>4件</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>15人</td> <td>2回</td> <td>2件</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>河南</td> <td>16人</td> <td>2回</td> <td>3件</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>桃生</td> <td>10人</td> <td>3回</td> <td>5件</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>15人</td> <td>1回</td> <td>1件</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>牡鹿</td> <td>13人</td> <td>3回</td> <td>3件</td> <td>0回</td> </tr> </tbody> </table>						地区	委員数	開催数	検討数	市長提案数	河北	14人	2回	4件	1回	雄勝	15人	2回	2件	0回	河南	16人	2回	3件	0回	桃生	10人	3回	5件	1回	北上	15人	1回	1件	0回	牡鹿	13人	3回	3件	0回
地区	委員数	開催数	検討数	市長提案数																																					
河北	14人	2回	4件	1回																																					
雄勝	15人	2回	2件	0回																																					
河南	16人	2回	3件	0回																																					
桃生	10人	3回	5件	1回																																					
北上	15人	1回	1件	0回																																					
牡鹿	13人	3回	3件	0回																																					
成果	<p>6地区において、下記の内容について、意見をいただき、事業推進の参考とした。また、2地区において、市長への施策提案を行った。</p> <p>【まちづくり施策検討概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 河北地区 委員会スケジュール、地域課題、市長への施策提案、総合計画後期基本計画について 雄勝地区 雄勝まちづくり協議会、総合計画後期基本計画について 河南地区 地域コミュニティ、地域活性化、河南総合支所庁舎整備について 桃生地区 総合計画、後期基本計画、地場産品等の振興策、市長への施策提案、桃生地域における小中一貫教育について 北上地区 北上観光物産交流センターの利用促進について 牡鹿地区 地域課題の洗い出し、地域課題の振り分け、市長への施策提案について <p>【市長へのまちづくり施策提案概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 河北地区 子どもが屋内外で安全安心に遊べる場所の確保等について 桃生地区 産業団地の醸成・企業誘致、中津山第一・第二小学校の利活用等について 																																								
成果に係る評価	各地域まちづくり委員会において、地域の発展・活性化を図るため、地域課題の整理等について活発な協議が行われ、河北及び桃生の2地区からは、市長へ地域のまちづくり施策が提案された。各総合支所の事務局と連携を密にしながら、各総合支所管内の課題解決及び地域まちづくりの推進に取り組んでいく。																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	2,331,000	1,348,196			1,254,000	94,196																																			

予算科目	2 款	総務費	事業名	復興応援隊設置事業																						
	1 項	総務管理費	総合計画	第 章																						
	7 目	地域振興費		第 節																						
	事業	地域振興関係費		()																						
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ																								
目的及び事業内容	震災からの一日も早い復興を果たすため、復興応援隊が地域住民の活動支援に従事することにより、住民主体の地域活動を促進し、コミュニティの再構築を図る。																									
取組実績	<p>令和6年度復興応援隊設置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>委託先</th> <th>契約額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央</td> <td>3.11メモリアルネットワーク</td> <td>9,636,000円</td> <td>・市民が主体となった震災伝承活動の支援 ・市民参加による震災伝承プログラムの実施 ・石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会や地域団体との調整など ※隊員2人</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>硯上の里おがつ運営協議会</td> <td>8,907,800円</td> <td>・地域活性化活動への支援（イベント、祭典協力） ・観光PRや地域PR活動の実践 ・地域コミュニティ活動支援 ・道の駅PR活動支援、情報誌の発行など ※隊員2人</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>ウィーアーワン北上</td> <td>8,404,000円</td> <td>・被災元地利活用促進のプロジェクト企画と創業支援 ・地域自治組織の実情等に応じた支援活動や相談業務 ・地域の活性化支援（北上にっこりまつり、イベントの運営） ・かわらばんの発行（年2回）、各種イベントチラシ発行など ※隊員3人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>26,947,800円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						地区	委託先	契約額	内容	中央	3.11メモリアルネットワーク	9,636,000円	・市民が主体となった震災伝承活動の支援 ・市民参加による震災伝承プログラムの実施 ・石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会や地域団体との調整など ※隊員2人	雄勝	硯上の里おがつ運営協議会	8,907,800円	・地域活性化活動への支援（イベント、祭典協力） ・観光PRや地域PR活動の実践 ・地域コミュニティ活動支援 ・道の駅PR活動支援、情報誌の発行など ※隊員2人	北上	ウィーアーワン北上	8,404,000円	・被災元地利活用促進のプロジェクト企画と創業支援 ・地域自治組織の実情等に応じた支援活動や相談業務 ・地域の活性化支援（北上にっこりまつり、イベントの運営） ・かわらばんの発行（年2回）、各種イベントチラシ発行など ※隊員3人	計		26,947,800円	
地区	委託先	契約額	内容																							
中央	3.11メモリアルネットワーク	9,636,000円	・市民が主体となった震災伝承活動の支援 ・市民参加による震災伝承プログラムの実施 ・石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会や地域団体との調整など ※隊員2人																							
雄勝	硯上の里おがつ運営協議会	8,907,800円	・地域活性化活動への支援（イベント、祭典協力） ・観光PRや地域PR活動の実践 ・地域コミュニティ活動支援 ・道の駅PR活動支援、情報誌の発行など ※隊員2人																							
北上	ウィーアーワン北上	8,404,000円	・被災元地利活用促進のプロジェクト企画と創業支援 ・地域自治組織の実情等に応じた支援活動や相談業務 ・地域の活性化支援（北上にっこりまつり、イベントの運営） ・かわらばんの発行（年2回）、各種イベントチラシ発行など ※隊員3人																							
計		26,947,800円																								
成果	<p>【中央地区】 地域団体と連携しながら、修学旅行や校外学習の受け入れを進め、閑散期においても案内内容を工夫し、また、大人数の修学旅行の受け入れも進めることができた。震災学習プログラムを提供することにより、多くの参加者に命を守る行動や教訓を知ってもらう機会となった。</p> <p>【雄勝地区】 おがつ海鮮まつりやおがつ100年会議のサポートを通じて、地域コミュニティの活性化や観光PRの実践を行うことができた。また年に4回発行している季刊誌や奇数月に発行したかわら版では、地域や道の駅内の明るい話題に紙面を割き、手に取った住民がより雄勝を身近に感じるよう工夫したことで、自分たちのまちへの関心を高めることができた。</p> <p>【北上地区】 被災元地利活用の情報発信とニーズの掘り起こしを目的としたプロジェクトの企画と創業支援、自治会等の実情や要望に応じた事業の支援、北上地域の情報発信及び広報活動を通して、北上地区の住民主体となるコミュニティ活動の活性化を促進することができた。</p>																									
成果に係る評価	各地区において、震災からの復興に向けて、住民主体の活動支援（震災伝承活動・地域活性化活動・被災元地利活用等）を実施したことにより復興支援を行うことができた。本事業については、第2期復興・創生期間の終了を見据え、住民が自分たちで主体的に活動ができるよう、人材育成や地域コミュニティの構築支援を行い、住民主体の地域活動への定着を図る。																									
予算の執行状況	(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	26,959,000	26,947,800				26,947,800																				

予算科目	2 款	総務費	事業名	移住定住推進事業																	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																
	事業	移住定住推進関係費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る																
担当部課	復興企画部SDGs移住定住推進課	実施計画掲載ページ		P14																	
目的及び事業内容	<p>少子高齢化、人口減少が本市の大きな課題となっており、移住・定住の促進による人口の維持が必要であることから、移住相談窓口の設置やお試し移住体験等の事業を実施するほか、住宅の取得等に伴う支援を行い、移住希望者が移住を検討しやすい環境を整備し、移住・定住の促進を図る。</p>																				
取組実績	<p>1 移住相談 (1) 移住相談窓口の開設 新規相談者数：236名 (2) 移住ポータルサイト「いしのまきを選ぶ」の開設 (3) SNS（Facebook、Instagram、Youtube）を活用したPR活動</p> <p>2 移住・定住促進 ・首都圏で開催された移住促進（移住相談）イベントに4回参加した。相談受付数：延べ63組83名 ・市内で移住者及び移住検討者を対象に市民の交流イベントを開催した。参加者：16組21名 ・2市1町が連携して1泊2日のお試し移住体験プログラムを実施した。参加者：8組10名</p> <p>3 お試し移住体験 ・中央第三復興住宅 利用実績：25組43名 ・折浜復興住宅 利用実績：4組9名 ・網地島マルホンハウス 利用実績：18組38名 ・民間施設 利用実績：1組1名 計48組91名</p> <p>4 定住促進住宅取得等補助金（R6制度見直し） 市外から転入し住宅を取得又は改修した子育て世帯に対して補助金を交付した。 補助額 取得の場合：最大170万円 改修の場合：最大50万円 交付実績 取得：31件 42,680,000円</p> <p>5 移住支援金 東京圏一極集中の是正を図るため、県及び県内市町村が共同して支援金を支給した。 支給額 単身移住60万円、世帯移住100万円（18歳未満の世帯員1人当たり100万円加算） 交付実績 世帯移住3件（うち子育て世帯加算1件） 単身移住：7件 計 10件 8,200,000円</p> <p>6 脱ペーパードライバー支援補助金 本市に転入後、自動車教習所でペーパードライバー講習を受講した方に対して受講料を助成した。 交付実績 6件78,000円</p> <p>7 定住促進奨学金返還支援事業助成金（R6新規事業） 奨学金の貸与を受け正規雇用者、起業家、専従者となった方に対して返還額の1/2以内を助成した。 補助額 限度額8万円/年、最大6年間 交付実績 13件720,093円</p>																				
成果	<p>移住促進イベントに積極的に参加し、本市の魅力や移住施策等を広くPRしたほか、新たな支援制度の創設や見直しを実施したことで、移住の後押しに繋がった。</p> <p>移住対策事業を活用した移住者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>150名</td> <td>150名</td> <td>165名</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>76名</td> <td>152名</td> <td>165名</td> <td>143名</td> </tr> </tbody> </table>						年度	R3	R4	R5	R6	目標		150名	150名	165名	実績	76名	152名	165名	143名
年度	R3	R4	R5	R6																	
目標		150名	150名	165名																	
実績	76名	152名	165名	143名																	
成果に係る評価	<p>若い世代の移住促進を図るため、定住促進住宅取得等補助金の対象者を子育て世帯に絞り込み、補助額拡大を図ったとともに、奨学金返還支援制度を新設した結果、前年度と比較し移住者数は減少し目標を下回ったものの、30代以下の割合が増加し、若年層の定住促進が図られた。 一方で新たな暮らし方が注目される昨今において、従来の移住者支援に加えて、関係人口や交流人口、二地域居住といった多様な関わり方にも対応できる施策が必要である。</p>																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
予算額	84,537,000	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
		73,390,964	6,273,000	42,680,000	24,437,964																

予算科目	2 款	総務費	事業名	地域おこし協力隊事業																						
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																					
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																					
	事業	地域おこし協力隊関係費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る																					
担当部課	復興企画部SDGs移住定住推進課	実施計画掲載ページ		P14																						
目的及び事業内容	<p>三大都市圏または政令指定都市等から、地域活性化に意欲があり本市に定住する意思のある人材を受け入れ、地域おこし協力隊として委嘱し、地域振興及び地域の活性化が図られる活動に従事しながら、本市への定住・定着を図る。</p>																									
取組実績	<p>1 隊員数（令和7年3月31日現在） (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>配置目標数</th> <th>隊員数</th> <th>インターン中／予定者</th> <th>募集予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>右腕型</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>地域課題提案型</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 新規配置状況及び活動内容 【地域課題提案型】2名 ①50代男性（前住所：千葉県市川市、R6.10.1委嘱） 活動内容：スポーツを活用したまちづくり ②30代男性（前住所：宮城県仙台市、R7.1.1委嘱） 活動内容：SNSを中心としたシティプロモーション</p> <p>3 隊員に対する活動支援及び隊員募集 ・サポート体制強化のためプロボナールにより受入支援事業者を選定した。各隊員にコーディネーターを配置し、3か月に1回の三者面談を行う等、隊員や受入事業者との関係性を強化した。 ・隊員と事務局と市で交流を行う活動報告会を毎月実施し、隊員の活動状況を把握し、相談しやすい環境づくりを行った。 ・年度末に市長や関係課のほか受入事業者やメディア等を招いた活動報告会を実施し、報告内容をポータルサイトに掲載して市民等に広く周知した。 ・隊員募集に際し、WEB説明会を開催したほか、InstagramやFacebookの広告を取り入れた。また、ニッポン移住・交流ナビJOINに、受入事業者の特徴や地域の特性等の情報を盛り込み、魅力発信を併せて行った。</p> <p>4 退任後の起業等支援 退任後の定住・定着を図るため、起業を目指す2名の隊員へ起業に要する経費の一部を補助した。 補助金額実績：1,256,086円</p> <p>5 受入事業者の募集 右腕型の受入事業者を募集し、新たに12事業者を選定した。</p>						区分	配置目標数	隊員数	インターン中／予定者	募集予定	右腕型	16	3	7	6	地域課題提案型	4	3	—	1	計	20	6	7	7
区分	配置目標数	隊員数	インターン中／予定者	募集予定																						
右腕型	16	3	7	6																						
地域課題提案型	4	3	—	1																						
計	20	6	7	7																						
成果	<p>令和6年度に3名の地域おこし協力隊員を新たに委嘱し、定住・定着に向けたサポート体制の充実を図った結果、令和6年度中に退任した7名のうち6名が本市に定住した。</p> <p>隊員数の状況 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5年度末</th> <th>R6委嘱</th> <th>R6退任</th> <th>R6年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>右腕型</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>地域課題提案型</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>						区分	R5年度末	R6委嘱	R6退任	R6年度末	右腕型	8	1	6	3	地域課題提案型	2	2	1	3	計	10	3	7	6
区分	R5年度末	R6委嘱	R6退任	R6年度末																						
右腕型	8	1	6	3																						
地域課題提案型	2	2	1	3																						
計	10	3	7	6																						
成果に係る評価	<p>退任後の定着率は高く、有効な施策である。 右腕型の隊員募集では、事業者マッチングがうまくいかず採用とならなかった件もあったが、隊員の募集において、WEB説明会の開催や募集記事を見やすくする等の工夫をしたことで、多くの応募につながったことから、今後もこうした取組を継続していく。</p>																									
予算の執行状況	(単位：円)																									
予算額	46,959,000	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
		43,069,481				43,069,481																				

予算科目	2 款	総務費	事業名	ふるさとワーキングホリデー実施事業																											
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																										
	7 目	地域振興費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																										
	事業	移住定住推進関係費		(1)	移住したくなるライフスタイルの形成を図る																										
担当部課	復興企画部SDGs移住定住推進課	実施計画掲載ページ		P14																											
目的及び事業内容		<p>都市部の若者等がおおむね2週間から1か月程度、働きながら本市に滞在し、地域の人たちとの交流等を通じ、関わりを深める機会を提供するふるさとワーキングホリデー事業を実施することで、関係人口の創出や将来的な移住の促進を図る。</p>																													
取組実績		<p>1 ふるさとワーキングホリデー事業運営業務 委託期間R6.4.1~R7.3.31</p> <p>(1) 委託先 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン</p> <p>(2) 委託内容 ア 相談(問い合わせ)窓口の設置 イ 受入事業者の募集及び選定 ウ 参加者の募集(総務省ホームページ及び独自ポータルサイトへの募集情報の掲載、総務省が主催する説明会への参加) エ 地域との関わりを深める取組(交流イベント)の提供</p> <p>(3) 連携団体 ア 一般社団法人ISHINOMAKI2.0 ウェブ制作、広報、交流イベントの開催、観光(ゲストハウス)の受入運営 イ 株式会社街づくりまんぼう 交流イベントの開催、漫画関連企業の受入運営 ウ 一般社団法人イシノマキ・ファーム 交流イベントの開催、農業関連企業の受入運営</p> <p>(4) 実績 ア 就労先及び参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>受入事業者数</th> <th>就労内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁業</td> <td>4団体</td> <td>わかめの選別、牡蠣養殖の準備、ホタテの耳吊り等</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>農業</td> <td>3団体</td> <td>野菜の収穫・選別・出荷準備、PR・広報業務等</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>観光</td> <td>2団体</td> <td>宿泊施設の運営補助、情報発信、イベント企画等</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>漫画</td> <td>1団体</td> <td>イベント企画、街づくり業務等</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10団体</td> <td></td> <td>34人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">平均年齢：26.4歳</p> <p>イ 地域との関わりを深める取組(交流イベント) 中心市街地街歩き、乗船体験、マリンスポーツ体験、農業体験、地域との交流会、みそづくり体験、震災関連のイベント参加、田代島巡り等</p>						分野	受入事業者数	就労内容	参加者数	漁業	4団体	わかめの選別、牡蠣養殖の準備、ホタテの耳吊り等	16人	農業	3団体	野菜の収穫・選別・出荷準備、PR・広報業務等	10人	観光	2団体	宿泊施設の運営補助、情報発信、イベント企画等	5人	漫画	1団体	イベント企画、街づくり業務等	3人	計	10団体		34人
分野	受入事業者数	就労内容	参加者数																												
漁業	4団体	わかめの選別、牡蠣養殖の準備、ホタテの耳吊り等	16人																												
農業	3団体	野菜の収穫・選別・出荷準備、PR・広報業務等	10人																												
観光	2団体	宿泊施設の運営補助、情報発信、イベント企画等	5人																												
漫画	1団体	イベント企画、街づくり業務等	3人																												
計	10団体		34人																												
成果		<p>多様な業種の就労場所や地域との関わりを深める機会を提供したことで、2名が移住し、受入事業者への就業につながったほか、本市の魅力を知ってもらいきっかけを作ることができた。</p> <p>参加者に行うアンケート調査において再度本市を訪れたいと回答した参加者の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>96%</td> <td>94%</td> <td>94%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	R4	R5	R6	目標	80%	80%	80%	実績	96%	94%	94%												
年度	R4	R5	R6																												
目標	80%	80%	80%																												
実績	96%	94%	94%																												
成果に係る評価		<p>参加者に行ったアンケート調査において、「好きな人たちがいる好きな場所が増えた」、「体験終了後も繋がりをもてていることが嬉しい」などの意見があり、再度本市を訪れたいと回答した割合も高く、参加者の満足度は高かったが、直ちに移住につながる結果とはならなかった。</p> <p>本事業については、関係人口の創出を図る当初の目的は達成できたことから、令和6年度で終了とした。</p> <p>なお、本事業を通じて築かれた関係が、交流人口、関係人口としての関わりや今後の移住につながるものと考えている。</p>																													
予算の執行状況		(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	14,997,000	14,996,300				14,996,300																									

予算科目	2 款	総務費	事業名	ずっと住みたい地域づくり支援事業																					
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																				
	7 目	地域振興費		第 1 節	共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																				
	事業	ずっと住みたい地域づくり支援事業費		(1)	コミュニティ活動の活性化を図る																				
担当部課	市民生活部地域協働課	実施計画掲載ページ		P11																					
目的及び事業内容		<p>地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づくまちづくりや住民自治の確立を目指し、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため住民自治組織の設立を進める。</p> <p>震災により甚大な被害を受け地域コミュニティが崩壊した中で、新たな住民主体の活動にかかる意識醸成が難しい地域もあるが、各地域の実情を考慮しながら、市内全域での住民自治組織設立を推進するとともに、設立された自治組織が充実した活動ができるよう支援を行うもの。</p>																							
取組実績		<p>【住民自治組織設立及び支援に関する取組】</p> <p>住民自治組織設立を推進するため、未設立地区に対する支援を行った。設立された住民協議会に対し、住民自治組織サポート事業を実施することで、住民自治組織設立後の円滑な組織運営が行われた。</p> <p>1 住民自治組織設立支援事業(令和6年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区数</th> <th>交付額</th> <th>対象地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8地区</td> <td>1,929,352円</td> <td>石巻、山の手、釜・大街道、住吉、稲井、荻浜、河北、雄勝</td> </tr> </tbody> </table> <p>※稲井、河北、雄勝地区はR5年度後半に準備会が設立されたため、補助金の交付はR6年度となった。</p> <p>2 住民自治組織サポート事業(令和6年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区数</th> <th>委託料</th> <th>対象地区</th> <th>委託団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1地区</td> <td>1,831,500円</td> <td>湊</td> <td>特定非営利活動法人はんぶきんふれあい会</td> </tr> </tbody> </table>						地区数	交付額	対象地区	8地区	1,929,352円	石巻、山の手、釜・大街道、住吉、稲井、荻浜、河北、雄勝	地区数	委託料	対象地区	委託団体	1地区	1,831,500円	湊	特定非営利活動法人はんぶきんふれあい会				
地区数	交付額	対象地区																							
8地区	1,929,352円	石巻、山の手、釜・大街道、住吉、稲井、荻浜、河北、雄勝																							
地区数	委託料	対象地区	委託団体																						
1地区	1,831,500円	湊	特定非営利活動法人はんぶきんふれあい会																						
成果		<p>【設立された住民自治組織への支援】</p> <p>住民自治組織交付金を交付し、住民自治組織の活動に対する支援を行った。各組織では、交付金を活用し、地域課題の解決やお祭りなどの地域交流事業を実施し、地域コミュニティの活性化が図られた。</p> <p>1 住民自治組織設立状況(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4地区</td> <td>6地区</td> <td>7地区</td> <td>13地区</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 住民自治組織交付金の交付(令和6年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区数</th> <th>交付額</th> <th>対象地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12地区</td> <td>13,573,649円</td> <td>石巻、釜・大街道、山下、湊、渡波、稲井、蛇田、河北、雄勝、河南、桃生、北上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※住吉地区はR6年度末に住民自治組織が設立されたため、交付金は未交付となった。</p> <p>3 住民自治組織の活動状況(令和6年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">研修(石巻、釜・大街道ほか) 広報誌発行(石巻、稲井ほか) 環境美化事業(渡波、蛇田ほか) 地区文化祭(山下) 婚活事業(桃生) スポーツ交流イベント(湊ほか) 地区住民交流事業(河北、河南ほか) 住民と子どもの交流事業(北上) 地区PRホームページ作成(雄勝)等</td> </tr> </tbody> </table>						R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	4地区	6地区	7地区	13地区	地区数	交付額	対象地区	12地区	13,573,649円	石巻、釜・大街道、山下、湊、渡波、稲井、蛇田、河北、雄勝、河南、桃生、北上	主な事業内容		研修(石巻、釜・大街道ほか) 広報誌発行(石巻、稲井ほか) 環境美化事業(渡波、蛇田ほか) 地区文化祭(山下) 婚活事業(桃生) スポーツ交流イベント(湊ほか) 地区住民交流事業(河北、河南ほか) 住民と子どもの交流事業(北上) 地区PRホームページ作成(雄勝)等	
R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																						
4地区	6地区	7地区	13地区																						
地区数	交付額	対象地区																							
12地区	13,573,649円	石巻、釜・大街道、山下、湊、渡波、稲井、蛇田、河北、雄勝、河南、桃生、北上																							
主な事業内容																									
研修(石巻、釜・大街道ほか) 広報誌発行(石巻、稲井ほか) 環境美化事業(渡波、蛇田ほか) 地区文化祭(山下) 婚活事業(桃生) スポーツ交流イベント(湊ほか) 地区住民交流事業(河北、河南ほか) 住民と子どもの交流事業(北上) 地区PRホームページ作成(雄勝)等																									
成果に係る評価		<p>住民自治組織の活動に対する助成金の交付及び活性化支援を行うことにより、地区における課題の解決、住民同士の交流の促進など地域コミュニティの活性化が図られた。住民自治組織の設立数は市内16地区のうち13地区となったが、住民自治組織交付金の交付団体は12団体となった。</p> <p>今後は未設立地区に対し、早期設立に向けた支援を行うとともに、設立済みの各自治組織がこれまで以上に充実した活動ができるよう、地域に寄り添いながらサポートを行っていく必要がある。</p>																							
予算の執行状況		(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	21,490,200	17,361,366	12,245,000	5,000,000		116,366																			

予算科目	2 款 総務費		事業名 離島振興対策事業																	
	1 項 総務管理費		総合計画	第 1 章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																
	8 目 離島振興費			第 1 節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実																
	事業 離島振興対策費			(2) 地域の均衡ある発展を図る																
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P 12																
目的及び事業内容	既存の観光施設や地理的条件を生かした自然環境を有効に活用し、本市の離島（田代島・網地島）の魅力を広げ発信することにより、交流人口の更なる拡大を目指す。島民及び県内離島保有市町と連携し、島の現状に即した事業を行い離島振興及び活性化を図る。																			
取組実績	<p>離島振興対策事業として、島民及び県内離島保有市町との連携を図り、下記のとおり実施した。</p> <p>1 関係市町とのアイランダーへの出展 実施日：令和6年11月16日～17日 場 所：池袋・サンシャインシティ 文化会館ビル2階 展示ホールD 内 容：来場者へのPR、観光マップの配布、島内限定グッズの配布ほか</p> <p>2 関係市町との宮城県及び宮城県議会への要望活動 実施日：令和6年11月12日 場 所：宮城県庁行政舎、宮城県議会庁舎 内 容：(1) 離島地域における医療の確保及び医療体制の充実、医療維持のための財政支援 (2) 離島地域における介護保険サービスの確保 (3) 離島航路維持のための補助制度等の改善及び拡充 (4) 離島における燃料安定供給と燃料費格差是正 (5) 出島架橋事業の着実な推進 (6) 離島地区におけるプロパンガス供給事業の安定経営 (7) 離島地域における通信環境の整備</p> <p>3 田代島離島振興ステッカー・缶バッジの製作 内 容：島をPRするステッカー、缶バッジを製作 活 用：離島航路発着所や各種イベント開催時に配布し、離島の魅力を広く発信</p>																			
成 果	<p>離島への交流人口については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、上記活動により、目標を下回ったものの、過去最高を記録した令和元年度の44,963人に迫る41,000人まで回復し、前年度比で7,861人の増加となった。</p> <p>田代島及び網地島への交流人口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>51,323人</td> <td>26,635人</td> <td>52%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>53,889人</td> <td>33,670人</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>56,584人</td> <td>41,531人</td> <td>73%</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	実績等	達成率	R4	51,323人	26,635人	52%	R5	53,889人	33,670人	62%	R6	56,584人	41,531人	73%
	目標値	実績等	達成率																	
R4	51,323人	26,635人	52%																	
R5	53,889人	33,670人	62%																	
R6	56,584人	41,531人	73%																	
成果に係る評価	離島航路発着所や各種イベント開催時における離島振興ステッカー・缶バッジの配布や離島と都市をつなぐ交流促進イベントである「アイランダー」へ参加し離島の魅力の発信に努めた。今後も離島振興及び活性化を図るための事業を実施し、交流人口の拡大を促進していく。																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	1,620,000	1,530,688			227,766	1,302,922														

予算科目	2 款 総務費		事業名 離島航路維持事業																																	
	1 項 総務管理費		総合計画	第 1 章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																
	8 目 離島振興費			第 5 節 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																																
	事業 離島振興対策費			(2) 市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																																
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P 22																																
目的及び事業内容	田代島・網地島と本土を結ぶ航路は島民の交通手段、生活物資の輸送手段として、重要な生活基盤であるとともに、近年は離島を訪れる観光客が増加していることから、安定的な運航維持のため、航路事業者者に支援を行うとともに島民を対象とした運賃割引実施に対する補助を行う。																																			
取組実績	<p>1 離島航路維持費補助金の交付 航路事業者の安定的な運航経営を実現するため、国、県と協議しながら、航路維持費の欠損分に対して補助金を交付した。</p> <p>【補助金交付実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>欠損額</th> <th>国補助金</th> <th>市補助金</th> <th>県補助金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>257,424,899円</td> <td>139,562,537円</td> <td>117,862,362円</td> <td>40,821,364円</td> <td>77,040,998円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>257,824,928円</td> <td>131,710,543円</td> <td>126,114,385円</td> <td>40,795,508円</td> <td>85,318,877円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>260,957,995円</td> <td>120,266,731円</td> <td>140,691,264円</td> <td>40,800,732円</td> <td>99,890,532円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※一般財源にはその他を含む。</p> <p>2 離島航路事業者経営安定化補助金の交付 夜間の救急患者搬送に備えた田代島への船舶及び船員の待機に要する費用のほか、離島住民・障害者運賃割引、離島住民自動車送付割引に係る減収分に対して補助金を交付した。</p> <p>【補助金交付実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>市補助金 (一般財源)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>4,353,890円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>5,054,655円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>6,103,770円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※一般財源にはその他を含む。</p>				年度	欠損額	国補助金	市補助金	県補助金	一般財源	R4	257,424,899円	139,562,537円	117,862,362円	40,821,364円	77,040,998円	R5	257,824,928円	131,710,543円	126,114,385円	40,795,508円	85,318,877円	R6	260,957,995円	120,266,731円	140,691,264円	40,800,732円	99,890,532円	年度	市補助金 (一般財源)	R4	4,353,890円	R5	5,054,655円	R6	6,103,770円
年度	欠損額	国補助金	市補助金	県補助金	一般財源																															
R4	257,424,899円	139,562,537円	117,862,362円	40,821,364円	77,040,998円																															
R5	257,824,928円	131,710,543円	126,114,385円	40,795,508円	85,318,877円																															
R6	260,957,995円	120,266,731円	140,691,264円	40,800,732円	99,890,532円																															
年度	市補助金 (一般財源)																																			
R4	4,353,890円																																			
R5	5,054,655円																																			
R6	6,103,770円																																			
成 果	<p>離島航路利用者については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、令和6年度は過去最高を記録した令和元年度の104,282人に迫る96,428人まで回復した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>離島航路利用者数</td> <td>67,030人</td> <td>80,528人</td> <td>96,428人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R4	R5	R6	離島航路利用者数	67,030人	80,528人	96,428人																								
年度	R4	R5	R6																																	
離島航路利用者数	67,030人	80,528人	96,428人																																	
成果に係る評価	航路事業者の航路維持費の欠損分に対する補助により、経営を安定させ、経営基盤の強化を図ることで、本土と離島を繋ぐ唯一の交通機関としての運行や夜間救急患者搬送への備えなどを継続的に実施することができ、島民が安心・安全に生活できる環境を維持することができている。 また、国・県・市及び事業者で組織する「石巻～長渡航路確保維持協議会」で本航路運営に係る課題についての情報共有を行い、連携して利便性の向上、利用者の増加に向けた取組を推進し、離島航路の安定的な維持に努めていく。																																			
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	159,188,000	146,795,034	40,800,732		95,264	105,899,038																														

予算科目	2 款	総務費	事業名	路線バス運行維持対策補助事業																																																									
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																								
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																																																								
	事業	地域交通対策関係費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																																																								
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P21																																																									
目的及び事業内容		株式会社ミヤコーバスが運行する広域路線バス（複数の市町（旧町含む）にまたがる路線）及び市内完結路線バス（旧市内のみ運行する路線）の運行費を一部補助することで、持続可能な路線バスの運行を支援する。																																																											
取組実績		<p>地域の実情に応じた交通手段を確保、維持するため、運行事業者に対し運行費補助を行った。</p> <p>1 令和6年度路線バス運行維持対策補助実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>運行経路</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">広域路線</td> <td>石巻免許センター線</td> <td>石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院</td> <td>15,525,126円</td> </tr> <tr> <td>河南線</td> <td>石巻駅前～傘松～河南総合支所</td> <td>14,348,952円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>石巻駅前～石巻専修大学～飯野川</td> <td>11,027,231円</td> </tr> <tr> <td>河北線</td> <td>石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川</td> <td>19,894,600円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">鮎川線</td> <td>石巻駅前～筒場～鮎川港</td> <td rowspan="4">32,923,486円</td> </tr> <tr> <td>石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港</td> </tr> <tr> <td>イオン石巻東店～萩浜～鮎川港</td> </tr> <tr> <td>イオン石巻東店～サンファンパーク～鮎川港</td> </tr> <tr> <td>女川線</td> <td>石巻駅前～筒場～女川運動公園前</td> <td>6,278,510円</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">市内完結路線</td> <td>石巻専修大学線</td> <td>石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館</td> <td>3,841,900円</td> </tr> <tr> <td>中里線</td> <td>石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅</td> <td>10,663,300円</td> </tr> <tr> <td>山下門脇線</td> <td>石巻駅前～いしのまき元氣いちば～石巻駅前</td> <td>5,535,100円</td> </tr> <tr> <td>石巻日赤線</td> <td>石巻駅前～蛇田～日赤病院</td> <td>1,145,300円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>石巻駅前～イオンモール石巻～日赤病院</td> <td>3,500,700円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻線</td> <td>石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店</td> <td>5,479,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>石巻駅前～いしのまき元氣いちば～イオン石巻東店</td> <td>18,224,400円</td> </tr> <tr> <td>石巻渡波線</td> <td>石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店</td> <td>5,308,300円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td></td> <td>153,695,905円</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	運行経路	補助金額	広域路線	石巻免許センター線	石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院	15,525,126円	河南線	石巻駅前～傘松～河南総合支所	14,348,952円	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	11,027,231円	河北線	石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川	19,894,600円	鮎川線	石巻駅前～筒場～鮎川港	32,923,486円	石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港	イオン石巻東店～萩浜～鮎川港	イオン石巻東店～サンファンパーク～鮎川港	女川線	石巻駅前～筒場～女川運動公園前	6,278,510円	市内完結路線	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	3,841,900円	中里線	石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅	10,663,300円	山下門脇線	石巻駅前～いしのまき元氣いちば～石巻駅前	5,535,100円	石巻日赤線	石巻駅前～蛇田～日赤病院	1,145,300円		石巻駅前～イオンモール石巻～日赤病院	3,500,700円	鹿妻線	石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店	5,479,000円		石巻駅前～いしのまき元氣いちば～イオン石巻東店	18,224,400円	石巻渡波線	石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店	5,308,300円		合計		153,695,905円
路線名	運行経路	補助金額																																																											
広域路線	石巻免許センター線	石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院	15,525,126円																																																										
	河南線	石巻駅前～傘松～河南総合支所	14,348,952円																																																										
	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	11,027,231円																																																										
	河北線	石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川	19,894,600円																																																										
	鮎川線	石巻駅前～筒場～鮎川港	32,923,486円																																																										
		石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港																																																											
		イオン石巻東店～萩浜～鮎川港																																																											
		イオン石巻東店～サンファンパーク～鮎川港																																																											
	女川線	石巻駅前～筒場～女川運動公園前	6,278,510円																																																										
	市内完結路線	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	3,841,900円																																																									
中里線		石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅	10,663,300円																																																										
山下門脇線		石巻駅前～いしのまき元氣いちば～石巻駅前	5,535,100円																																																										
石巻日赤線		石巻駅前～蛇田～日赤病院	1,145,300円																																																										
		石巻駅前～イオンモール石巻～日赤病院	3,500,700円																																																										
鹿妻線		石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店	5,479,000円																																																										
		石巻駅前～いしのまき元氣いちば～イオン石巻東店	18,224,400円																																																										
石巻渡波線		石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店	5,308,300円																																																										
	合計		153,695,905円																																																										
成果		<p>前年度より年間の利用者数が20,074人増加し289,833人となった。</p> <p>広域バス路線については「1日当たりの輸送量が15人以上150人未満」等の要件を満たす場合、事業者に対する国庫補助の対象となるが、輸送量が15人以上の路線は6路線6系統中、2路線2系統（石巻免許センター線と石巻専修大学線）となっており、今後も継続して補助対象路線の利用者数向上に向けて取り組む。</p> <p>なお、現在は被災地特例及びコロナ特例により、輸送量要件を満たしていない場合でも国庫補助対象となっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線バス（補助対象路線）利用者数</td> <td>261,355人</td> <td>269,759人</td> <td>289,833人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	R4	R5	R6	路線バス（補助対象路線）利用者数	261,355人	269,759人	289,833人																																														
年度	R4	R5	R6																																																										
路線バス（補助対象路線）利用者数	261,355人	269,759人	289,833人																																																										
成果に係る評価		<p>少子高齢化による人口減少が急速に進む中で、路線バス利用者が前年度よりも増加しており、石巻市総合交通計画に基づき実施したパターンダイヤ化等の施策の効果が表れているものと考えられる。</p> <p>引き続き、総合交通計画に基づき各種施策を実施することで、利用者数の増加を図っていく。</p>																																																											
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国（県）支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>161,317,000</td> <td>153,695,905</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>153,695,905</td> </tr> </tbody> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	161,317,000	153,695,905				153,695,905																																						
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
161,317,000	153,695,905				153,695,905																																																								

予算科目	2 款	総務費	事業名	住民バス運行費補助事業																																																															
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																														
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																																																														
	事業	地域交通対策関係費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																																																														
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P22																																																															
目的及び事業内容		<p>地域公共交通は、少子高齢化の進行等に伴い、利用者が減少している現状であることから、地域住民で組織する運行協議会が運行する住民バス等の運行費に対し補助を行い、日常生活に必要な不可欠な地域公共交通を維持する。</p>																																																																	
取組実績		<p>地域の住民バスを運行する運行協議会に対し、補助金を交付した。</p> <p>1 令和6年度運行協議会別補助金の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>運行主体</th> <th>運行形態</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茨浜地区住民バス</td> <td>茨浜地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>4,969,031円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>10,471,979円</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>山の手地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド</td> <td>3,529,581円</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド</td> <td>3,363,158円</td> </tr> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線 デマンド</td> <td>7,293,256円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線 デマンド</td> <td>23,938,115円</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>河南地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド</td> <td>6,952,385円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス・ワンコインタクシー</td> <td>桃生地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線 デマンド</td> <td>10,299,996円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>16,901,621円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>87,719,122円</td> </tr> </tbody> </table>						名 称	運行主体	運行形態	補助金額	茨浜地区住民バス	茨浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	4,969,031円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	10,471,979円	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	3,529,581円	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	3,363,158円	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	7,293,256円	雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	23,938,115円	河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	6,952,385円	桃生地区住民バス・ワンコインタクシー	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	10,299,996円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	16,901,621円	合計			87,719,122円																
名 称	運行主体	運行形態	補助金額																																																																
茨浜地区住民バス	茨浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	4,969,031円																																																																
稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	10,471,979円																																																																
山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	3,529,581円																																																																
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	3,363,158円																																																																
河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	7,293,256円																																																																
雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	23,938,115円																																																																
河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド	6,952,385円																																																																
桃生地区住民バス・ワンコインタクシー	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線 デマンド	10,299,996円																																																																
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	16,901,621円																																																																
合計			87,719,122円																																																																
成果		<p>住民バス及び乗合タクシーの運行費に対する補助を行ったことで、地域住民の移動手段を確保した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">R5</th> <th colspan="2">R6</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茨浜地区住民バス</td> <td>492人</td> <td>284便</td> <td>567人</td> <td>286便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>5,896人</td> <td>3,077便</td> <td>5,822人</td> <td>2,690便</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>4,842人</td> <td>3,274便</td> <td>3,903人</td> <td>2,873便</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>5,114人</td> <td>3,394便</td> <td>4,164人</td> <td>3,016便</td> </tr> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>2,734人</td> <td>1,680便</td> <td>2,579人</td> <td>1,767便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>6,478人</td> <td>3,921便</td> <td>5,562人</td> <td>3,532便</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>3,434人</td> <td>2,398便</td> <td>3,766人</td> <td>2,355便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス・ワンコインタクシー</td> <td>4,929人</td> <td>4,015便</td> <td>4,332人</td> <td>4,206便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>4,584人</td> <td>1,920便</td> <td>5,083人</td> <td>2,160便</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>38,503人</td> <td>23,963便</td> <td>35,778人</td> <td>22,885便</td> </tr> </tbody> </table>						名 称	R5		R6		利用者数	便数	利用者数	便数	茨浜地区住民バス	492人	284便	567人	286便	稲井地域乗合タクシー	5,896人	3,077便	5,822人	2,690便	山の手地区乗合タクシー	4,842人	3,274便	3,903人	2,873便	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	5,114人	3,394便	4,164人	3,016便	河北地区住民バス	2,734人	1,680便	2,579人	1,767便	雄勝地区住民バス	6,478人	3,921便	5,562人	3,532便	河南地区乗合タクシー	3,434人	2,398便	3,766人	2,355便	桃生地区住民バス・ワンコインタクシー	4,929人	4,015便	4,332人	4,206便	北上地区住民バス	4,584人	1,920便	5,083人	2,160便	合計		38,503人	23,963便	35,778人	22,885便
名 称	R5		R6																																																																
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																															
茨浜地区住民バス	492人	284便	567人	286便																																																															
稲井地域乗合タクシー	5,896人	3,077便	5,822人	2,690便																																																															
山の手地区乗合タクシー	4,842人	3,274便	3,903人	2,873便																																																															
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	5,114人	3,394便	4,164人	3,016便																																																															
河北地区住民バス	2,734人	1,680便	2,579人	1,767便																																																															
雄勝地区住民バス	6,478人	3,921便	5,562人	3,532便																																																															
河南地区乗合タクシー	3,434人	2,398便	3,766人	2,355便																																																															
桃生地区住民バス・ワンコインタクシー	4,929人	4,015便	4,332人	4,206便																																																															
北上地区住民バス	4,584人	1,920便	5,083人	2,160便																																																															
合計		38,503人	23,963便	35,778人	22,885便																																																														
成果に係る評価		<p>利用者数が増加した地区もある一方、少子化による通学利用者の減少や、運賃の値上げにより利用者数が減少した地区もあり、全体として利用者数は2,725人減少した。</p> <p>住民バス・乗合タクシーについては、地域住民の通院・買物等の移動手段として活用され、地域の足として重要な役割を果たしていることから、運行形態やダイヤの見直しにより利便性を向上させるなど、利用者の増加に努めていく。</p>																																																																	
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国（県）支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89,570,000</td> <td>87,719,122</td> <td>1,587,000</td> <td></td> <td></td> <td>86,132,122</td> </tr> </tbody> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	89,570,000	87,719,122	1,587,000			86,132,122																																												
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
89,570,000	87,719,122	1,587,000			86,132,122																																																														

予算科目	2 款	総務費	事業名	公共交通路線再編及び利用促進事業																				
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																			
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																			
	事業	地域交通対策関係費		(1)	持続可能な公共交通体系を構築する																			
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P21																				
目的及び事業内容	令和3年度に策定した石巻市総合交通計画に基づき、各地区の住民バス、乗合タクシー及び市民バスと路線バスの接続性、運行形態、ダイヤ並びに運賃体制等を総合的に見直すとともに、公共交通の利用促進に向けたモビリティマネジメントを推進する。																							
取組実績	<p>河北地区住民バス及び桃生ワンコインタクシーの運行形態を見直したほか、牡鹿地区市民バスにおけるダイヤの全面的な見直しを行った。</p> <p>また、公共交通の利用促進に取り組むとともに、運転免許証返納者に対する路線バス運賃の助成制度の導入に向けた検討を行った。</p> <p>1 総合的な見直しを行った路線</p> <p>(1) 河北地区住民バス</p> <p>(2) 桃生ワンコインタクシー</p> <p>(3) 牡鹿地区市民バス</p> <p>2 公共交通利用促進事業</p> <p>(1) 公共交通利用促進デーの実施</p> <p>(2) 視覚障害者と意見交換</p> <p>(3) コンテンツプロバイダに対する住民バスの運行情報の提供</p>																							
成果	<p>地域のニーズを反映した住民バス等の総合的な見直し及び運転免許証返納者に対する路線バスの助成制度の導入に向けた検討を進めたほか、公共交通に対する市民意識の改善が図られるとともに、住民バスの運行情報をコンテンツプロバイダに提供したことで、本市の住民バスを使用したルートを検索できる経路検索サービスが増加し、利便性の向上が図られた。</p> <p>1 公共交通利用促進事業実施回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>2回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 公共交通（路線バス・住民バス・乗合タクシー・市民バス）年間利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>376,072人</td> <td>321,528人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>379,833人</td> <td>339,706人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標値	実績等	R5	2回	3回	R6	2回	3回	年度	目標値	実績等	R5	376,072人	321,528人	R6	379,833人	339,706人
年度	目標値	実績等																						
R5	2回	3回																						
R6	2回	3回																						
年度	目標値	実績等																						
R5	376,072人	321,528人																						
R6	379,833人	339,706人																						
成果に係る評価	<p>公共交通に知見のある総合交通計画専門委員からの助言により、総合交通計画に位置付けられている施策を予定どおり実施できている。</p> <p>公共交通の年間利用者数は目標を下回っているものの、前年度に比べ増加しており、牡鹿地区市民バスのダイヤを大幅に見直したことや前年度に実施した路線バスのパターンダイヤ化等の施策の効果が表れているものと考えられる。</p> <p>今後も、利便性を向上させることで、日常の移動手段として選ばれる公共交通を目指し事業を推進していく。</p>																							
予算の執行状況	(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	4,690,852	4,642,000				4,642,000																		

予算科目	2 款	総務費	事業名	公共交通デジタルサイネージ設置事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進		
	事業	地域交通対策関係費		(1)	持続可能な公共交通体系を構築する		
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P21			
目的及び事業内容	<p>本市の公共交通の拠点かつ市民・観光客等の玄関口である石巻駅前に鉄道、バス及び離島航路の時刻表、市内の観光情報並びにイベント情報等を表示するデジタルサイネージを設置し、公共交通の利便性向上を図るとともに、「駅前エリア」・「川沿いエリア」間の「居心地がよく歩きたくなる」空間づくりを推進する。</p> <p>また、デジタルサイネージの設置に併せてバスの乗場番号を記載した案内サインを設置することで、利便性向上の効果を高める。</p>						
取組実績	<p>デジタルサイネージ及び乗場案内サインの調達・設置工事並びに配信コンテンツの作成を実施した。</p> <p>1 仕様</p> <p>(1) デジタルサイネージ</p> <p>ア 本体サイズ W868×H2020×D150mm</p> <p>イ ディスプレイサイズ 55インチ・縦置き</p> <p>ウ 画面比率 16:9</p> <p>エ 屋外設置対応（耐熱、防水防塵、塩害対応）</p> <p>オ タッチパネル式</p> <p>カ 日本語・英語・韓国語・中国語（繁体・簡体）の4言語に対応</p> <p>(2) 乗場案内サイン（自立式）</p> <p>ア サイズ H1800×W460×D78mm</p> <p>(3) 乗場案内サイン（添架式）</p> <p>ア サイズ H400×W600mm</p>						
成果	<p>石巻駅前広場にデジタルサイネージ及び乗場案内サインを設置した。</p> <p>1 設置数量</p> <p>(1) デジタルサイネージ 1基</p> <p>(2) 乗場案内サイン（自立式） 2基</p> <p>(3) 乗場案内サイン（添架式） 3基</p>						
成果に係る評価	<p>石巻駅前広場にデジタルサイネージを設置することで、バス、鉄道及び離島航路の時刻表及び路線図等が1か所に集約され、運行情報等のわかりやすさが改善するとともに、乗場案内サインの設置により、バスの乗場位置及び番号がわかりやすくなり、公共交通の利便性向上が図られた。</p>						
予算の執行状況	(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	13,471,000	12,604,900	6,184,200			6,420,700	

予算科目	2 款	総務費	事業名	社鹿地区市民バス運行事業																											
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																										
	9 目	地域交通費		第 5 節	持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進																										
	事業	社鹿地区市民バス運行事業費		(2)	市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する																										
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P22																											
目的及び事業内容	社鹿地区住民の通院や買物等の日常生活における移動手段を確保するため、交通事業者がいない同地区で、市が運行主体となり、市民バスを運行することで、交通弱者等の地区内移動手段を確保する。																														
取組実績	<p>地域の実情に最適な交通手段の確保を目指し、市民バスの運行を行った。 また、令和6年4月から寄磯～鮎川線において平日の便を1便増便し、令和6年9月に地域住民の要望を踏まえ全面的なダイヤ改正を実施した。</p> <p>1 運行概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th colspan="2">運行状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td>平日 12便/日 土曜日 4便/日</td> <td>(日・祝日・年末年始は原則運休)</td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td>平日 7便/日 土曜日 4便/日</td> <td>(日・祝日・年末年始は原則運休)</td> </tr> <tr> <td>泊～大原線</td> <td>平日 1便/日</td> <td>(土・日・祝日・年末年始は原則運休)</td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td>5便/日</td> <td>(年末年始は原則運休)</td> </tr> </tbody> </table>					路線名	運行状況		寄磯～鮎川線	平日 12便/日 土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)	泊～清優館線	平日 7便/日 土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)	泊～大原線	平日 1便/日	(土・日・祝日・年末年始は原則運休)	網地島線	5便/日	(年末年始は原則運休)											
路線名	運行状況																														
寄磯～鮎川線	平日 12便/日 土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)																													
泊～清優館線	平日 7便/日 土曜日 4便/日	(日・祝日・年末年始は原則運休)																													
泊～大原線	平日 1便/日	(土・日・祝日・年末年始は原則運休)																													
網地島線	5便/日	(年末年始は原則運休)																													
成果	<p>当該市民バスは、小学校までのスクールバスとしての機能も兼ねており、小学生の安全な通学手段が確保された。 令和6年度においては、増便及びダイヤ改正の実施により利便性の向上が図られた。</p> <p>1 市民バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般利用</td> <td>8,710人</td> <td>7,522人</td> <td>8,514人</td> </tr> <tr> <td>通学利用</td> <td>6,087人</td> <td>5,227人</td> <td>5,581人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>14,797人</td> <td>12,749人</td> <td>14,095人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>7,599便</td> <td>7,653便</td> <td>8,081便</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 通学利用区間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>利用区間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td>寄磯～小淵(上り3便、下り3便)</td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td>鮎川金山～鮎川小(上り3便、下り4便)</td> </tr> </tbody> </table>						R4	R5	R6	一般利用	8,710人	7,522人	8,514人	通学利用	6,087人	5,227人	5,581人	利用者数合計	14,797人	12,749人	14,095人	運行便数	7,599便	7,653便	8,081便	路線名	利用区間	寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り3便、下り3便)	泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り3便、下り4便)
	R4	R5	R6																												
一般利用	8,710人	7,522人	8,514人																												
通学利用	6,087人	5,227人	5,581人																												
利用者数合計	14,797人	12,749人	14,095人																												
運行便数	7,599便	7,653便	8,081便																												
路線名	利用区間																														
寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り3便、下り3便)																														
泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り3便、下り4便)																														
成果に係る評価	平成30年度から毎年利用者数が減少を続けてきたが、増便及びダイヤ改正を行った結果、利用者数が増加に転じた。今後も、地域のニーズを踏まえ、停留所やダイヤの見直しを行い、利便性の向上を図っていく。																														
予算の執行状況	(単位：円)																														
予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
31,011,000	30,473,240	69,000		1,308,400	29,095,840																										

予算科目	2 款	総務費	事業名	男女共同参画推進事業																										
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																									
	10 目	男女共同参画推進費		第 4 節	誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進																									
	事業	男女共同参画推進費		(1)	政策・方針決定の場への女性の参画を推進する																									
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P20																										
目的及び事業内容	すべての個人が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受し、かつ共に責任を担うべき社会を目指す「男女共同参画社会」の実現を図るため、男女共同参画基本計画(第4次)に基づき、各種男女共同参画推進事業を実施する。																													
取組実績	<p>1 石巻市男女共同参画基本計画(第4次:令和3年度～令和7年度)の進捗管理 (1) 令和5年度の事業実施状況を把握・検証 (2) 石巻市男女共同参画推進審議会へ諮問し、「概ね妥当」との答申を得た。 2 石巻市男女共同参画基本計画(第4次)に基づいて、各種男女共同参画推進事業を実施 【開催事業等実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画週間啓発事業</td> <td>・男女共同参画パネル展示(6/3～6/30 石巻市役所1階イオン店舗内通路) ・啓発チラシ入りのポケットティッシュ配布(6/26 石巻駅前) ・庁舎内電子掲示板に掲載(6/17～6/29 石巻市役所2階市民課前)</td> </tr> <tr> <td>高校生のための性教育講話</td> <td>【実施日】7/17、10/3、12/5 【場 所】石巻市立桜坂高校 【対象者】石巻市立桜坂高校の全学年 【参加人数】(1学年)119名(2学年)98名(3学年)128名</td> </tr> <tr> <td>女性人材育成セミナー(ロールモデル交流会)</td> <td>【実施日】2/1、2/3、2/8、2/10、2/15、2/17 【場 所】石巻市ささえあいセンターほか2か所 【対象者】石巻市内に居住又は通勤・通学する18歳以上の女性 【参加人数】再就職コース(平日) 延べ54名 就職・起業コース(休日) 延べ53名</td> </tr> <tr> <td>性的マイノリティ研修</td> <td>【実施日】8/30 【場 所】石巻市ささえあいセンター 【対象者】一般市民、市立保育所及び市立幼稚園職員、市職員 【参加人数】96名(動画視聴者含む)</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	内容	男女共同参画週間啓発事業	・男女共同参画パネル展示(6/3～6/30 石巻市役所1階イオン店舗内通路) ・啓発チラシ入りのポケットティッシュ配布(6/26 石巻駅前) ・庁舎内電子掲示板に掲載(6/17～6/29 石巻市役所2階市民課前)	高校生のための性教育講話	【実施日】7/17、10/3、12/5 【場 所】石巻市立桜坂高校 【対象者】石巻市立桜坂高校の全学年 【参加人数】(1学年)119名(2学年)98名(3学年)128名	女性人材育成セミナー(ロールモデル交流会)	【実施日】2/1、2/3、2/8、2/10、2/15、2/17 【場 所】石巻市ささえあいセンターほか2か所 【対象者】石巻市内に居住又は通勤・通学する18歳以上の女性 【参加人数】再就職コース(平日) 延べ54名 就職・起業コース(休日) 延べ53名	性的マイノリティ研修	【実施日】8/30 【場 所】石巻市ささえあいセンター 【対象者】一般市民、市立保育所及び市立幼稚園職員、市職員 【参加人数】96名(動画視聴者含む)															
事業名	内容																													
男女共同参画週間啓発事業	・男女共同参画パネル展示(6/3～6/30 石巻市役所1階イオン店舗内通路) ・啓発チラシ入りのポケットティッシュ配布(6/26 石巻駅前) ・庁舎内電子掲示板に掲載(6/17～6/29 石巻市役所2階市民課前)																													
高校生のための性教育講話	【実施日】7/17、10/3、12/5 【場 所】石巻市立桜坂高校 【対象者】石巻市立桜坂高校の全学年 【参加人数】(1学年)119名(2学年)98名(3学年)128名																													
女性人材育成セミナー(ロールモデル交流会)	【実施日】2/1、2/3、2/8、2/10、2/15、2/17 【場 所】石巻市ささえあいセンターほか2か所 【対象者】石巻市内に居住又は通勤・通学する18歳以上の女性 【参加人数】再就職コース(平日) 延べ54名 就職・起業コース(休日) 延べ53名																													
性的マイノリティ研修	【実施日】8/30 【場 所】石巻市ささえあいセンター 【対象者】一般市民、市立保育所及び市立幼稚園職員、市職員 【参加人数】96名(動画視聴者含む)																													
成果	<p>石巻市男女共同参画基本計画(第4次)に基づく各種施策の実施により、男女共同参画社会の形成の促進や意識啓発が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な評価指標項目</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審議会・委員会等への女性委員の割合</td> <td>27.8%</td> <td>28.1%</td> <td>28.2%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>「男女共同参画社会」という言葉を知っている人の割合</td> <td>78.2%</td> <td>82.0%</td> <td>80.9%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>「育児や家事の割合」について「夫婦同様」との回答割合</td> <td>66.1%</td> <td>72.4%</td> <td>75.7%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>性的マイノリティ又はLGBTという言葉を知っている割合</td> <td>75.5%</td> <td>87.4%</td> <td>83.8%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					主な評価指標項目	R4	R5	R6	目標値	審議会・委員会等への女性委員の割合	27.8%	28.1%	28.2%	40%	「男女共同参画社会」という言葉を知っている人の割合	78.2%	82.0%	80.9%	100%	「育児や家事の割合」について「夫婦同様」との回答割合	66.1%	72.4%	75.7%	70%	性的マイノリティ又はLGBTという言葉を知っている割合	75.5%	87.4%	83.8%	100%
主な評価指標項目	R4	R5	R6	目標値																										
審議会・委員会等への女性委員の割合	27.8%	28.1%	28.2%	40%																										
「男女共同参画社会」という言葉を知っている人の割合	78.2%	82.0%	80.9%	100%																										
「育児や家事の割合」について「夫婦同様」との回答割合	66.1%	72.4%	75.7%	70%																										
性的マイノリティ又はLGBTという言葉を知っている割合	75.5%	87.4%	83.8%	100%																										
成果に係る評価	令和6年度に開催した男女共同参画推進審議会において、第4次基本計画の設定目標21項目中、7項目を達成した令和5年度実績について、「概ね妥当」との評価をいただいた。 令和6年度目標達成状況は、21項目中6項目となったが、着実に実績を伸ばしている項目もある。 男女共同参画社会の実現のためには、性別や年代等関係なく様々な立場の人々の意識醸成が必要なことから、今後も啓発セミナー等を実施し、意識啓発を図っていく。																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
1,329,000	973,868	326,000		647,868																										

予算科目	2 款	総務費	事業名	親になるための教育事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	10 目	男女共同参画推進費		第 4 節	誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進		
	事業	男女共同参画推進費		(2)	社会のあらゆる分野における意識啓発を図る		
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P20			
目的及び事業内容	中学生を対象に助産師の講義と妊婦疑似体験を組み合わせた事業を実施することで、妊産婦への思いやりを育み、命の大切さや子供を産み育てることの意義について理解を促し、社会全体で出産や育児を支える環境づくりを目指す。						
取組実績	<p>一般社団法人宮城県助産師会による講義では、心と体の成長及び命を産み育てることについて医学的に学ぶとともに、助産師の実体験・経験に基づいた内容や事前アンケートにおける生徒からの質問に対する回答を盛り込みながら、各学校の生徒の興味を踏まえ講義を実施した。</p> <p>また、体験では約8kgの妊婦ジャケットの着用や乳幼児とのふれあいを実施した。</p> <p>1 親になるための教育事業 (1) 対象：実施を希望した市内中学校13校 (2) 参加者：生徒760名 親子140組 (3) 講師：一般社団法人宮城県助産師会 (4) 協力団体：特定非営利活動法人ベビースマイル石巻 (5) 内容：【講義】 ・男女の体の違いや妊娠のしくみ ・思春期のころ ・性感染症、男女交際のあり方について ・多様性に対する啓発（性的マイノリティを含む） ・助産師の仕事について 【体験】 ・妊婦ジャケット着用体験 ・赤ちゃん人形抱っこ体験 ・乳幼児とのふれあい体験</p>						
成果	講義だけでなく妊婦疑似体験や実際に乳幼児を育てている保護者とそのお子さんに協力いただき、ふれあい体験を実施することにより、妊娠・出産・子育てを生徒自身が自分のこととして捉え、将来について考えるきっかけとなり、自らの体に対する認識を深めると同時に命や家族の大切さ、子育てに対する理解を深めることができた。						
成果に係る評価	疑似体験や乳幼児とのふれあい体験は、生徒や学校からも貴重な体験ができたという評価を得ている。 事業実施後のアンケートの結果においては、生徒たちの満足度は非常に高く、子育てに対する関心が「高まった」「やや高まった」との意見が約93.7%となり、生徒の子育てに対する理解を深めることができた。 引き続き、講義と体験を組み合わせた事業を実施し、命の大切さや子供を産み育てることの意義について、生徒の理解促進を図り、社会全体で出産や育児を支える環境づくりを推進していく。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,957,000	1,902,789	1,268,500		634,289		

予算科目	2 款	総務費	事業名	子育てしやすい職場環境整備推進事業														
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち													
	10 目	男女共同参画推進費		第 4 節	誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進													
	事業	男女共同参画推進費		(2)	社会のあらゆる分野における意識啓発を図る													
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P20														
目的及び事業内容	社会全体で仕事・家事・育児等の両立を尊重する意識の醸成を目指すため、管理職層のほか、従業員をまとめる立場にあるリーダー層を対象に、子育て参加に対する理解促進講座と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた仕事の効率化を図るためのスキル習得研修を実施する。																	
取組実績	<p>男性の育児参加やワーク・ライフ・バランスの実現、社会全体の理解促進に向けて、市内事業所の管理職層及び市職員を対象にイクボス研修を実施した。あわせて、石巻市イクボス宣言企業登録実施要領を策定し、働きやすい職場環境づくりに取り組むイクボス宣言企業を募集し、市長を始めとする管理職以上の市職員、市議会議長、イクボスの趣旨に賛同いただいた市内の企業・団体の代表者とイクボス宣言を実施した。</p> <p>また、女性活躍の組織的メリットをテーマに女性活躍推進セミナーを開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>研修及び開催日</th> <th>テーマ及び内容</th> <th>対象者及び参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イクボス研修 【令和6年11月20日】</td> <td>【内容】 ・イクボスに取り組むメリット ・仕事の効率化スキルの事例紹介 ・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・男性の育児休業取得の推進等</td> <td>市職員、市議会議員、市内事業所 計55名（動画視聴者含む）</td> </tr> <tr> <td>イクボス宣言式 【令和6年11月20日】</td> <td>【内容】 ・基調講演（イクボスとしての役割と基本的な考え方、イクボスになるためのマネジメント術等） ・いしのまきイクボス宣言書への署名 ・イクボス宣言の唱和</td> <td>市幹部職員、市議会議長、企業等の代表者及び管理職 計115名</td> </tr> <tr> <td>女性活躍推進セミナー 【令和7年2月4日】</td> <td>【テーマ】 「かがやけ 女性のチカラ」 職場環境の改善～女性活躍の組織的メリット～ 【内容】 ・女性活躍推進上の現状と課題 ・企業として取り組むメリット等</td> <td>市内事業所 19名</td> </tr> </tbody> </table>						研修及び開催日	テーマ及び内容	対象者及び参加者数	イクボス研修 【令和6年11月20日】	【内容】 ・イクボスに取り組むメリット ・仕事の効率化スキルの事例紹介 ・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・男性の育児休業取得の推進等	市職員、市議会議員、市内事業所 計55名（動画視聴者含む）	イクボス宣言式 【令和6年11月20日】	【内容】 ・基調講演（イクボスとしての役割と基本的な考え方、イクボスになるためのマネジメント術等） ・いしのまきイクボス宣言書への署名 ・イクボス宣言の唱和	市幹部職員、市議会議長、企業等の代表者及び管理職 計115名	女性活躍推進セミナー 【令和7年2月4日】	【テーマ】 「かがやけ 女性のチカラ」 職場環境の改善～女性活躍の組織的メリット～ 【内容】 ・女性活躍推進上の現状と課題 ・企業として取り組むメリット等	市内事業所 19名
研修及び開催日	テーマ及び内容	対象者及び参加者数																
イクボス研修 【令和6年11月20日】	【内容】 ・イクボスに取り組むメリット ・仕事の効率化スキルの事例紹介 ・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・男性の育児休業取得の推進等	市職員、市議会議員、市内事業所 計55名（動画視聴者含む）																
イクボス宣言式 【令和6年11月20日】	【内容】 ・基調講演（イクボスとしての役割と基本的な考え方、イクボスになるためのマネジメント術等） ・いしのまきイクボス宣言書への署名 ・イクボス宣言の唱和	市幹部職員、市議会議長、企業等の代表者及び管理職 計115名																
女性活躍推進セミナー 【令和7年2月4日】	【テーマ】 「かがやけ 女性のチカラ」 職場環境の改善～女性活躍の組織的メリット～ 【内容】 ・女性活躍推進上の現状と課題 ・企業として取り組むメリット等	市内事業所 19名																
成果	イクボス研修を通じて、男性の家事・育児に対する理解促進や、働き方に関する男女双方の意識改革、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境づくりに対する意識の醸成が図られた。 また、市及び企業等の管理職が官民一体となってイクボス宣言式を行うことで、地域としての働き方改革への機運が高まり、イメージの向上や人材確保といったより良い職場環境の醸成につなげることができた。 女性活躍推進セミナーにおいては、女性のキャリア形成における課題の共有や、子育てと仕事を両立できる職場環境の事例紹介を通じて、女性の働く意欲を高め、地域の人材力の向上や活性化に繋げることができた。																	
成果に係る評価	事業実施後のアンケートにおいて、「家庭での家事・育児の分担について意識が変わった」、「セミナーを受講したことで、女性活躍推進に関する意識が向上した」との回答が多く寄せられ、男性の家事・育児に対する理解促進や就業環境の整備に向けた意識醸成を図ることができた。 今後は、市内事業所からの参加者の増加を図るため、研修やセミナー内容の充実を図るとともに、SNSなどを活用した情報発信の強化を図る。 また、令和6年度は、24社のイクボス宣言企業登録により、働きやすい職場環境づくりや子育てしやすい地域づくりを市全体で推進することができた。今後は、より多くのイクボス宣言企業登録を目指し、周知活動に努めていく。																	
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	312,000	283,000	141,500		141,500													

予算科目	2 款 総務費		事業名 国際姉妹都市・友好都市交流推進事業			
	1 項 総務管理費		総合計画	第 1 章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	11 目 国際交流費			第 1 節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業 国際交流推進費			(3) 友好都市等との交流を推進する		
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P 12		
目的及び事業内容	<p>国際姉妹都市・友好都市との多分野における交流事業を実施し、各市との友好親善関係を深めるとともに、相互理解の促進と地域の活性化を目指す。</p> <p>また、各市の将来を担う可能性豊かな子どもたちに異文化を経験する機会を与え、国際的な人材の育成を図る。</p>					
取組実績	<p>【イタリア・チビタベッキア市】</p> <p>ハボン・ハセクラ後援会が主催する「令和遣欧使節」が、チビタベッキア市を訪れる際に、市長からチビタベッキア市長への親書を託した。</p> <p>【中国・温州市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友好都市締結40周年記念事業（受入） 実施日：令和6年10月4日（金）～6日（日） 来訪者：温州市人民政府 王常務副市长ほか8名、市民代表団 卓团长ほか17名 内 容：本市にて記念式典及び交流会を開催したほか、温州市美術局より書画や絵画等を借用し、第39回石巻市美術展において、記念展示を実施した。 友好都市締結40周年記念事業（派遣） 実施日：令和6年11月12日（火）～16日（土） 訪問者：市長ほか行政訪問団14名、市民訪問団7名 内 容：温州市で開催した記念式典及び交流会へ出席したほか、温州大学や中国十大名山等の視察を行った。 また、平成28年に締結した議定書が令和6年をもって期間満了となったことから、令和7年から16年までの10年を期間とする、新たな友好交流計画に関する議定書を締結した。 2024温州マラソン大会への選手派遣 実施日：令和6年12月6日（金）～10日（火） 訪問者：3人（うち招待選手2人） 内 容：交流計画に関する議定書に基づくスポーツ交流の一環として、温州市で12月8日に開催された「2024温州マラソン大会」へ選手を派遣した。 ※上記ほか、温州市人民政府外事弁公室及び浙江東方職業技術学院とのオンライン協議を実施。 					
成 果	<p>【イタリア・チビタベッキア市】</p> <p>本市より親書にて、交流の再開について提案したものの、チビタベッキア市からは今後の方向性など、明確な回答がない状況となっている。</p> <p>【中国・温州市】</p> <p>温州市との友好都市締結40周年という節目の年の各種事業に、両市の関係者が参加したため、交流人口が増加し、友好親善関係の促進が図られた。</p> <p>また、温州市で開催されたマラソン大会への派遣により、温州市マラソン協会関係者との交流など、市民間における相互理解を深める機会も創出することができた。</p>					
成果に係る評価	<p>【イタリア・チビタベッキア市】</p> <p>チビタベッキア市との今後の交流事業については、令和8年度には姉妹都市締結55周年を迎えることとなるため、交流再開へ向けてオンラインを活用した協議を行っていく。</p> <p>【中国・温州市】</p> <p>今後も5年毎の周年記念事業及びマラソン大会へ隔年での相互派遣を継続実施していくほか、行政間及び市民間において、より良い効果が得られる友好交流の促進を図っていく。</p> <p>また、スポーツや文化交流のみならず、産業・観光などの両市の特色を活かせる交流についても、実施に向け協議を行っていく。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	8,965,966	8,767,618			8,767,618	

予算科目	2 款 総務費		事業名 諸外国との国際交流推進事業			
	1 項 総務管理費		総合計画	第 1 章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	11 目 国際交流費			第 1 節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実		
	事業 国際交流推進費			(3) 友好都市等との交流を推進する		
担当部課	復興企画部地域振興課		実施計画掲載ページ	P 13		
目的及び事業内容	<p>これまで友好関係を築いてきたチュニジアをはじめ、本市との交流を希望する諸外国からの来訪者を受入れ、異なる人種や文化に触れることにより、各国への理解を深めるとともに、国際感覚豊かな人材の育成を図る。</p>					
取組実績	<p>1 少年写真新聞 チュニジア特集号の寄贈 内 容：駐日チュニジア大使館より、チュニジアが特集された少年写真新聞を、市立小中学校及び市内の高等学校へ寄贈いただいた。</p> <p>2 ジャパンタイムズ チュニジア共和国ナショナルデー特集 掲載日：令和7年3月20日（木） 内 容：チュニジアの独立記念日を祝し、ジャパンタイムズのチュニジア共和国ナショナルデー特集ページへ、本市からのお祝いメッセージを掲載した。</p>					
成 果	<p>諸外国からの来訪はなかったものの、本市とチュニジアの交流が始まったきっかけや、これまでの交流の歴史について、理解を深めるための一助となった。</p>					
成果に係る評価	<p>異なる人種や文化に触れることにより、国際感覚豊かな人材の育成を図るため、今後も本市との交流を希望する諸外国から来石の申し出があった際には、受入れをしていく。</p> <p>特にチュニジアとの交流については、多くの市民に認知されている事業であり、これまで文化・スポーツなど様々な交流を実施してきたが、今後も相互理解が深められるよう努めていく。</p>					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	261,000	55,000			55,000	

予算科目	2 款	総務費	事業名	外国人相談窓口開設事業																																						
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																					
	11 目	国際交流費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																																					
	事業	国際交流推進費		(2)	国際社会に対応する安心な定住環境を整備する																																					
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 15																																						
目的及び事業内容	<p>本市に暮らす外国人が安心して生活できるよう、また地域住民の一員として日本人住民と共生できるよう支援することを目的とし、市内在住の外国人住民を対象に、外国人相談窓口を開設する。外国人相談員のほか、多言語映像通訳アプリ「みえる通訳」を導入及び出入国在留管理庁の通訳支援により、20言語で対応している。</p> <p>本窓口では、庁舎内での各種手続きに係る通訳補助のほか、市政情報の提供、市民生活全般にわたる相談に対応するとともに、専門的な関係機関の紹介等を行う。</p>																																									
取組実績	<p>1 開設状況 日 時：平日の9時から17時まで 場 所：本庁舎4階の地域振興課内 対応言語：英語・中国語・韓国語・タガログ語・ベトナム語・ミャンマー語・ネパール語・ロシア語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語・フランス語・ヒンディー語・スペイン語・クメール語・モンゴル語・シンハラ語・ウルドゥ語・ベンガル語・ウクライナ語 ※水曜日は中国人通訳が中国語に対応 木曜日はベトナム人通訳員がベトナム語・英語に対応</p> <p>2 相談内容 (1) 行政手続きに係る通訳及び補助 (2) 生活全般に係る相談 (3) その他の相談（雇用問題、結婚、離婚及びDVに関する相談など）</p> <p>3 国別相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国名</th> <th>ベトナム</th> <th>フィリピン</th> <th>中国</th> <th>ネパール</th> <th>インドネシア</th> <th>その他</th> <th>合計件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>33件</td> <td>19件</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>3件</td> <td>17件</td> <td>80件</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 相談窓口の周知 市内商業施設にある市政情報コーナーのほか、令和6年度は、外国人がよく訪れる金融機関への掲示を新たに3か所追加し、計14か所に本窓口の周知ポスター等を掲示した。 また、市内の日本語教室や多文化共生推進事業実施時に、本窓口の周知を行った。</p>						国名	ベトナム	フィリピン	中国	ネパール	インドネシア	その他	合計件数	件数	33件	19件	4件	4件	3件	17件	80件																				
国名	ベトナム	フィリピン	中国	ネパール	インドネシア	その他	合計件数																																			
件数	33件	19件	4件	4件	3件	17件	80件																																			
成果	<p>職員対応のほか外国人相談員を2名配置しているほか、多言語映像通訳アプリの導入及び出入国在留管理庁の通訳支援の登録により、対応言語を7言語追加し、従来の13言語から20言語対応へ拡充することができた。</p> <p>相談内容に応じて庁内外の関係機関と連携を図りながら、外国人住民が抱える不安や問題等の解決に向けた支援を行い、本市で安心して暮らすための環境整備を推進することができた。</p> <p>【市内在住外国人の状況】 (各年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1,358人</td> <td>1,205人</td> <td>1,375人</td> <td>1,606人</td> <td>1,734人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【外国人相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>50件</td> <td>50件</td> <td>80件</td> <td>100件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>68件</td> <td>93件</td> <td>107件</td> <td>116件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>136%</td> <td>186%</td> <td>134%</td> <td>116%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	R2	R3	R4	R5	R6	人数	1,358人	1,205人	1,375人	1,606人	1,734人	年度	R2	R3	R4	R5	R6	目標	50件	50件	80件	100件	100件	実績	68件	93件	107件	116件	80件	達成率	136%	186%	134%	116%	80%
年度	R2	R3	R4	R5	R6																																					
人数	1,358人	1,205人	1,375人	1,606人	1,734人																																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6																																					
目標	50件	50件	80件	100件	100件																																					
実績	68件	93件	107件	116件	80件																																					
達成率	136%	186%	134%	116%	80%																																					
成果に係る評価	<p>外国人住民の数が年々増えており、今後も外国人住民が安心・安全に生活していけるよう、市が主体となって継続して相談窓口を開設する必要がある。</p> <p>また、外国人住民の相談内容については、市役所窓口での各種証明書発行等のみならず、それぞれの生活に密着した結婚・離婚・教育など多岐に渡っており、年々複雑な内容も増加しているため、外国人住民へのより一層丁寧かつ適切な対応を心掛け、本市で生活していく上での不安・不便の解消に努めていく。</p>																																									
予算の執行状況	(単位：円)																																									
予算額	1,063,594	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
			421,000		45,000	428,932																																				

予算科目	2 款	総務費	事業名	日本語教室等開設事業																																																		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																	
	11 目	国際交流費		第 2 節	少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進																																																	
	事業	国際交流推進費		(2)	国際社会に対応する安心な定住環境を整備する																																																	
担当部課	復興企画部地域振興課	実施計画掲載ページ		P 15																																																		
目的及び事業内容	<p>本市に居住する外国人同士、そして外国人と日本人との相互理解を深めるための交流の場を提供するとともに外国人住民が本市で生活する上で必要な日本語、日本文化、風習等を学ぶ機会を提供し、外国人住民が安心・安全に暮らせる多文化共生社会の推進を図る。</p>																																																					
取組実績	<p>1 多文化共生推進事業「じゃばneeds (にーず) 塾」 【開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>講座内容</th> <th>参加者</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年5月19日</td> <td>民族衣装の紹介と着物の着付け体験</td> <td>6か国 38人</td> <td>総合福祉会館みなと荘</td> </tr> <tr> <td>令和6年8月24日</td> <td>外国につながる親子の夏休み教室</td> <td>7か国 24人</td> <td>マルホンまきあーとテラス</td> </tr> <tr> <td>令和7年2月9日</td> <td>警察署で学ぼう</td> <td>9か国 51人</td> <td>石巻警察署</td> </tr> <tr> <td>令和7年3月2日</td> <td>インドネシア料理教室</td> <td>6か国 26人</td> <td>総合福祉会館みなと荘</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 外国人のための日本語教室開催 (1) 楽しい日本語教室の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室</th> <th>開講日</th> <th>登録者数</th> <th>年間開講回数</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>へびた教室</td> <td>毎週月曜日</td> <td>16か国 27人</td> <td>39回</td> <td>一般外国人</td> </tr> <tr> <td>みなと荘教室</td> <td>毎月第2・4日曜日</td> <td>6か国 46人</td> <td>24回</td> <td>技能実習生/特定技能外国人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 研修会・交流会の開催 いちご狩り、石巻川開き祭り「大漁おどり」への参加、ポッチャ体験、クリスマス交流会、書き初め体験、ボーリング大会など</p>						月日	講座内容	参加者	会場	令和6年5月19日	民族衣装の紹介と着物の着付け体験	6か国 38人	総合福祉会館みなと荘	令和6年8月24日	外国につながる親子の夏休み教室	7か国 24人	マルホンまきあーとテラス	令和7年2月9日	警察署で学ぼう	9か国 51人	石巻警察署	令和7年3月2日	インドネシア料理教室	6か国 26人	総合福祉会館みなと荘	教室	開講日	登録者数	年間開講回数	対象	へびた教室	毎週月曜日	16か国 27人	39回	一般外国人	みなと荘教室	毎月第2・4日曜日	6か国 46人	24回	技能実習生/特定技能外国人													
月日	講座内容	参加者	会場																																																			
令和6年5月19日	民族衣装の紹介と着物の着付け体験	6か国 38人	総合福祉会館みなと荘																																																			
令和6年8月24日	外国につながる親子の夏休み教室	7か国 24人	マルホンまきあーとテラス																																																			
令和7年2月9日	警察署で学ぼう	9か国 51人	石巻警察署																																																			
令和7年3月2日	インドネシア料理教室	6か国 26人	総合福祉会館みなと荘																																																			
教室	開講日	登録者数	年間開講回数	対象																																																		
へびた教室	毎週月曜日	16か国 27人	39回	一般外国人																																																		
みなと荘教室	毎月第2・4日曜日	6か国 46人	24回	技能実習生/特定技能外国人																																																		
成果	<p>外国人住民と直接触れ合える機会となるじゃばneeds (にーず) 塾については、体験講座のみならず、交通ルールなど生活に密着した内容を取り入れ、相互理解促進の一助となった。</p> <p>また、楽しい日本語教室においては、四季と文化を感じられるイベントを通して、日本語学習のみならず、本市で暮らす外国人住民と日本人住民との交流を深める機会を創出することができた。</p> <p>◆へびた教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> <th>出身国数</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>16人</td> <td>11か国</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>24人</td> <td>10か国</td> <td>38回</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>24人</td> <td>12か国</td> <td>39回</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>24人</td> <td>15か国</td> <td>39回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>27人</td> <td>16か国</td> <td>39回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R6から会場をかわべいから蛇田公民館に変更。</p> <p>◆みなと荘教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> <th>出身国数</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>29人</td> <td>4か国</td> <td>19回</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>28人</td> <td>6か国</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>23人</td> <td>5か国</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>39人</td> <td>6か国</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>46人</td> <td>6か国</td> <td>24回</td> </tr> </tbody> </table>						年度	登録者数	出身国数	開講回数	R2	16人	11か国	25回	R3	24人	10か国	38回	R4	24人	12か国	39回	R5	24人	15か国	39回	R6	27人	16か国	39回	年度	登録者数	出身国数	開講回数	R2	29人	4か国	19回	R3	28人	6か国	24回	R4	23人	5か国	25回	R5	39人	6か国	24回	R6	46人	6か国	24回
年度	登録者数	出身国数	開講回数																																																			
R2	16人	11か国	25回																																																			
R3	24人	10か国	38回																																																			
R4	24人	12か国	39回																																																			
R5	24人	15か国	39回																																																			
R6	27人	16か国	39回																																																			
年度	登録者数	出身国数	開講回数																																																			
R2	29人	4か国	19回																																																			
R3	28人	6か国	24回																																																			
R4	23人	5か国	25回																																																			
R5	39人	6か国	24回																																																			
R6	46人	6か国	24回																																																			
成果に係る評価	<p>じゃばneeds (にーず) 塾は、製作作業や体験講座などを通じて参加者同士の交流が図られていることから、外国人住民の意向を考慮しながら、異なる分野の講座を年4回を目途に実施していく。</p> <p>日本語教室は、多くの外国人住民にとって、日本語学習だけではなく、生活習慣や文化についても学べる貴重な機会であり、普段関わりを持つことができない人と交流が持てる嬉しい場にもなっていることから、各種交流イベント等への協力を図りながら、日本人住民と外国住民の交流機会を創出するとともに、参加者の相互理解が深められるよう考慮しながら各種事業を実施していく。</p>																																																					
予算の執行状況	(単位：円)																																																					
予算額	934,440	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
					869,065																																																	

予算科目	2 款	総務費	事業名	交通安全推進事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	14 目	交通安全対策費		第 3 節	安心して暮らすための地域防災力などの向上		
	事業	交通安全対策費		(3)	消防機能・交通安全を推進する		
担当部課	危機管理部地域安全推進課	実施計画掲載ページ		P 18			
目的及び事業内容	<p>歩行者・運転者等へ交通安全意識の高揚を図り、交通安全運動の励行や飲酒運転の根絶を目指し、交通事故の撲滅を図る。</p> <p>広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるために警察機関、交通安全指導隊、交通安全母の会等の関係団体と連携し、各種行事等の開催やパトロール活動、周知活動、広報活動を推進し交通事故防止に寄与する。</p>						
取組実績	警察機関及び交通安全推進機関と連携し、各期の交通安全運動の推進、運転者の安全運転励行の推進、交通安全意識の普及啓発活動を行った。						
	1 各種交通安全運動として下記の事業を実施した。						
	日程	事業名	事業内容				
	4月上旬	新入生児童に対する交通事故防止活動	ランドセルカバー、黄色い帽子の配布				
	4/6～4/15	春の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導				
	7/21～8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報				
	9/21～9/30	秋の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導				
	10/1～1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報				
	11/28	石巻市交通安全大会	警察署及び自動車学校教官による交通事故防止に係る講話				
	12/1～2/28	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報				
	12/1～12/31	年末の交通事故防止運動	交通安全指導隊等による街頭指導				
	2 飲酒運転根絶活動として下記の事業を実施した。						
	日程	事業名	事業内容				
	4/6～4/15	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報				
9/21～9/30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報					
12/16～12/28	飲酒運転根絶広報	飲酒運転根絶キャンペーンの実施					
12月下旬	飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布	全戸配布による周知活動					
12～3月(各月)	飲酒運転根絶広報	新聞掲載・市役所2F電子掲示板への掲載					
成果	<p>春季及び秋季の交通安全運動など、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係機関・団体との連携により、交通事故防止や飲酒運転根絶、交通安全意識の高揚が図られた。また地域の実状・要望に応じ、のぼり旗や交通安全啓発看板等を設置し、12月から3月までの毎月22日には、新聞掲載による飲酒運転根絶広報など、各種広報活動をすることにより、安全安心な交通社会への実現に寄与した。</p>						
成果に係る評価	<p>活動指標目標値の各種交通安全教室の開催81回に対し、実績は58回となっているが、交通安全指導隊による各種行事での交通安全指導や学校等での教室を開催し、警察機関及び交通安全推進機関と緊密に連携しながら、交通安全意識の高揚が図られた。</p> <p>成果指標目標値の交通事故件数192件に対し、実績は196件、達成率は98.0%である。今後も交通安全教室が全ての幼稚園、保育所、小学校等にて実施されるよう、周知を行っていく。</p>						
(単位:円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,300,000	3,300,000	500,000			2,800,000	

予算科目	2 款	総務費	事業名	防犯灯普及事業			
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち		
	15 目	防犯関係費		第 3 節	安心して暮らすための地域防災力などの向上		
	事業	防犯関係費		(3)	消防機能・交通安全を推進する		
担当部課	危機管理部地域安全推進課	実施計画掲載ページ		P 19			
目的及び事業内容	<p>町内会等で維持管理を行っている防犯灯について、LED化することにより、光源の長寿命化と電気料金負担の軽減を図り、地域ぐるみの安心して暮らせるまちづくりを支援する。</p> <p>また、新規設置、電気料金に対しても補助金を交付することにより町内会等の負担を軽減し、地域における防犯活動の推進を図る。</p>						
取組実績	「石巻市防犯灯維持管理等補助金交付要綱」に基づき、町内会等が維持管理運営する防犯灯の経費に対して補助を行った。						
	○補助金交付実績						
	区分	補助金種別	交付件数	補助金額			
	R4	防犯灯新規設置費補助金	11件	4,731,000 円			
		防犯灯交換費補助金	14件	1,618,000 円			
		防犯灯電気料金補助金	99件	2,090,000 円			
		合計	124件	8,439,000 円			
	R5	防犯灯新規設置費補助金	15件	1,272,000 円			
		防犯灯交換費補助金	11件	1,587,000 円			
		防犯灯電気料金補助金	100件	2,299,000 円			
	合計	126件	5,158,000 円				
R6	防犯灯新規設置費補助金	12件	2,059,000 円				
	防犯灯交換費補助金	14件	3,485,000 円				
	防犯灯電気料金補助金	109件	2,175,000 円				
	合計	135件	7,719,000 円				
成果	<p>夜間における安全性の確保、犯罪防止に寄与するほか、補助金の交付により町内会等の負担軽減が図られた。</p>						
○補助金交付対象灯数							
区分	補助金種別	実績	成果指標(交換達成率)				
R4	防犯灯新規設置費補助金	24灯	35.5%	28.7%	目標値	実績等	
	防犯灯交換費補助金	38灯					
	防犯灯電気料金補助金	1,680灯					
R5	防犯灯新規設置費補助金	16灯	36.7%	29.7%	目標値	実績等	
	防犯灯交換費補助金	32灯					
	防犯灯電気料金補助金	1,747灯					
R6	防犯灯新規設置費補助金	20灯	39.8%	31.7%	目標値	実績等	
	防犯灯交換費補助金	64灯					
	防犯灯電気料金補助金	1,899灯					
成果に係る評価	<p>地域における防犯活動を推進し、地域住民の安全と安心の向上を図るため、町内会等が維持管理する防犯灯のLED化促進対策として事業を実施した。</p> <p>交換費補助金交付対象灯数については、未申請の町内会等に対し、LEDへの交換の声掛けを行い、交換を行った自治会等が9団体増加し、成果指標目標値39.8%のところ実績が31.7%となっている。</p> <p>全ての町内会等を交付対象とした公共性の高い事業であることから、LED化することによる地域の負担軽減と防犯体制の強化について、周知していくとともに、事業を継続していく必要がある。</p>						
(単位:円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	10,900,000	7,719,000				7,719,000	

予算科目	2 款	総務費	事業名	非核平和推進人材育成事業																																	
	1 項	総務管理費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																
	25 目	諸費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																
	事業	非核平和都市推進費		(1)	学校教育の充実を図る																																
担当部課	総務部総務課	実施計画掲載ページ		P 90																																	
目的及び事業内容	市の将来を担う小中学生を対象として、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と平和の尊さを学ぶことを目的に、広島市が主催する平和記念式典への参列などを行う中学生派遣事業及び市内小中学校における原爆被爆者を講師とした被爆体験者講話を実施し、恒久平和に貢献する人材の育成を図る。																																				
取組実績	<p>1 平和記念式典等への中学生派遣事業 日 程：令和6年8月5日～7日 研 修 先：広島市 対 象 者：市内中学生 16名 研修内容：平和記念式典への参列、被爆体験者講話の聴講、広島平和記念資料館の見学等</p> <p>2 被爆体験者講話 市内1小学校に原爆被爆者を講師として招き、自身の被爆体験、平和への思いを講話いただいた。 日 程：令和7年1月30日 場 所：石巻市立釜小学校 対 象 者：同小学校6年生 55名</p>																																				
成 果	<p>市の将来を担う小中学生が、平和の尊さや戦争の悲惨さを学ぶことにより、自身が平和活動を行うことの重要性を自覚し、文化祭発表等で家族や友人、市民へ広く非核平和について啓発を行うなど、恒久平和に貢献できる人材の育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th colspan="3">平和記念式典等への中学生派遣事業</th> <th colspan="2">被爆体験者講話</th> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標：生徒の非核平和の理解度</th> <th rowspan="2">達成率等</th> <th rowspan="2">講話参加人数</th> <th rowspan="2">実施校</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症の影響により中止</td> <td></td> <td>48人</td> <td>稲井中学校 2年生</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>95.0%</td> <td>95.7%</td> <td>100.7%</td> <td>22人</td> <td>中津山第一小学校 5・6年生</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>96.0%</td> <td>93.3%</td> <td>97.2%</td> <td>55人</td> <td>釜小学校 6年生</td> </tr> </tbody> </table>						年度	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話		成果指標：生徒の非核平和の理解度		達成率等	講話参加人数	実施校	目標値	実績値	R4	新型コロナウイルス感染症の影響により中止			48人	稲井中学校 2年生	R5	95.0%	95.7%	100.7%	22人	中津山第一小学校 5・6年生	R6	96.0%	93.3%	97.2%	55人	釜小学校 6年生
年度	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話																																	
	成果指標：生徒の非核平和の理解度		達成率等	講話参加人数	実施校																																
	目標値	実績値																																			
R4	新型コロナウイルス感染症の影響により中止			48人	稲井中学校 2年生																																
R5	95.0%	95.7%	100.7%	22人	中津山第一小学校 5・6年生																																
R6	96.0%	93.3%	97.2%	55人	釜小学校 6年生																																
成果に係る評価	<p>平和記念式典等への中学生派遣事業については、市内16中学校から研修生を派遣した。本事業の事後研修では全研修生が文化祭等で研修成果を発表し、その後、研修生の発表を聴いた中学生にアンケート調査を実施し、「非核平和」に対する関心や理解等に対する定量的な評価を行った。</p> <p>また、被爆体験者講話では市内小中学生を対象に実施し、中学生派遣事業同様、講話を聴いた小学生に対しアンケート調査を行い、事業効果の定量的な評価を行った。</p> <p>アンケート調査の結果、ほとんどの児童生徒が「非核平和」に対する関心や理解が深まったと答えており、児童生徒の「非核平和」に対する意識の醸成や理解の定着を図ることができた。</p> <p>今後も引き続き、広島派遣研修及び被爆体験者講話を実施し、「戦争の悲惨さ」や「平和の大切さ」をより多くの若い世代に継承する取組に加え、アンケート調査による事業の効果検証を行っていく。</p>																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	2,460,000	2,440,744				2,440,744																															

予算科目	2 款	総務費	事業名	東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕																		
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																	
	25 目	諸費		第 6 節	未来につなぐ震災伝承の推進																	
	事業	東日本大震災犠牲者追悼式関係費		(1)	震災伝承を推進する																	
担当部課	危機管理部震災伝承課	実施計画掲載ページ		P 23																		
目的及び事業内容	震災で犠牲になられた方々に対し、哀悼の意を捧げるため、市主催の追悼式(式典)を開催する。また、各総合支所にも献花台を設置し、一般の参列者の献花を受け付ける。																					
取組実績	<p>石巻市慰霊碑を本会場として追悼式典を開催したほか、市内6か所に祭壇及び献花台を設置し、本会場とともに献花を受け付けた。</p> <p>1 東日本大震災石巻市追悼式 (1) 日時 令和7年3月11日(火)式典：午後2時40分～ 献花：午前8時30分～午後5時 (2) 場所 石巻市慰霊碑(石巻南浜津波復興祈念公園内) (3) 式典概要 ア 黙祷(R5から低音階サイレンを使用) イ 市長式辞 ウ 追悼の辞(復興副大臣、衆議院議員、宮城県知事、石巻市議会議長) エ 献花(遺族代表(河北地区)、市長、来賓) (4) 本会場献花台 ア 終日献花可能(午後1時から午後5時まで献花用の花を配布) イ 導線を確保し、式典開催中も献花可能とした。</p> <p>2 地区献花場の設置 各総合支所地区内に祭壇及び献花台を設置し、一般献花を受け付けた。</p>																					
成 果	<p>石巻市慰霊碑(石巻南浜津波復興祈念公園内)を本会場として市主催の追悼式を実施することにより、震災で犠牲になられた方々に対し、深く哀悼の意を捧げることができた。</p> <p>〈献花者数〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>本会場</th> <th>945 人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区献花場</td> <td>126 人</td> </tr> <tr> <td>雄勝総合支所</td> <td>146 人</td> </tr> <tr> <td>遊楽館</td> <td>114 人</td> </tr> <tr> <td>桃生総合支所</td> <td>128 人</td> </tr> <tr> <td>北上総合支所</td> <td>128 人</td> </tr> <tr> <td>杜鹿保健福祉センター</td> <td>145 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,732 人</td> </tr> </tbody> </table>						本会場	945 人	地区献花場	126 人	雄勝総合支所	146 人	遊楽館	114 人	桃生総合支所	128 人	北上総合支所	128 人	杜鹿保健福祉センター	145 人	計	1,732 人
本会場	945 人																					
地区献花場	126 人																					
雄勝総合支所	146 人																					
遊楽館	114 人																					
桃生総合支所	128 人																					
北上総合支所	128 人																					
杜鹿保健福祉センター	145 人																					
計	1,732 人																					
成果に係る評価	<p>東日本大震災により、3,000人を超える尊い命が奪われ、未だ多数の方々が行方不明となっている。震災で犠牲になられた方々に対し、哀悼の意を捧げるため、市主催の追悼式の挙行及び献花台の設置について、今後も継続する必要がある。</p> <p>R5年度から追悼のサイレンを低音階のサイレンに変更するなど市民の心に寄り添った開催に努めており、今回、式典開催中も慰霊碑前で献花が行えるよう会場レイアウトを変更したところ、概ね順調に進行することができたが、一部戸惑う方も見受けられたことから、案内板を設置するなどの見直しを図る必要がある。</p>																					
予算の執行状況	(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	5,000,000	4,803,650				4,803,650																

予算科目	2 款	総務費	事業名	震災伝承事業〔復興基金〕																																																					
	1 項	総務管理費	総合計画	第 1 章	住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち																																																				
	25 目	諸費		第 6 節	未来につなぐ震災伝承の推進																																																				
	事業	震災伝承関係費		(1)	震災伝承を推進する																																																				
担当部課	危機管理部震災伝承課	実施計画掲載ページ		P23																																																					
目的及び事業内容		東日本大震災の事象と教訓、復旧・復興への思いを後世に伝えるため、「震災遺構門脇小学校」及び「震災遺構大川小学校」を運営・活用し、震災伝承に関する事業を推進する。																																																							
取組実績		<p>1 震災遺構施設の運営 東日本大震災の事実と教訓、復旧・復興への思いを後世に伝えるため、「震災遺構門脇小学校」及び「震災遺構大川小学校」の運営を通して、震災伝承の取り組みを推進する。</p> <p>(1) 指定管理者 石巻市震災遺構指定管理グループ (2) 指定管理料 46,000,000円 (3) 指定管理期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日 (4) 事業の実施</p> <p>ア 震災伝承の取り組み 語り部の話を聞く会（年6回）、語り部・伝承者育成講座（年5回） イ 防災学習の取り組み 県内小中学校・高校の防災学習招致、避難所設営研修無料体験会（11月、3月） 夏休みなど子ども向け防災学習（防災・減災スタンプラリー、段ボールベット組立て等） ウ 企画展（新潟県中越地震から20年、パンダ・アチエ市訪問から考える東日本大震災の20年後） エ 3.11関連行事（夜間特別開館、ライトアップ、無料解説ガイド（門脇小）） オ 自主事業（館内ガイド、絵はがきなどの物販）</p> <p>2 震災伝承支援事業の実施 震災における経験や教訓を伝え続けるため、市内をフィールドに伝承活動を行っている個人や団体等と連携し、震災伝承に関するシンポジウムやスキルアップ研修等の開催を行った。</p> <p>(1) 「石巻防災・震災伝承のつどい」の開催 ア 開催年月日：令和7年1月26日（日） 会場：蛇田公民館 協力：31団体 参加：600名 (2) 震災伝承関係者のスキルアップ研修（3回）</p>																																																							
成果		<p>震災遺構の適正な運営・維持管理が図られるとともに、震災遺構来訪者に対し、東日本大震災をめぐる事象と教訓を伝え継ぐことができた。</p> <p>1 震災遺構の来訪者の状況</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">【震災遺構門脇小学校】</th> <th colspan="4">【震災遺構大川小学校】</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>58,000人</td> <td>38,957人</td> <td>67.2%</td> <td>R3</td> <td>45,000人</td> <td>49,245人</td> <td>109.4%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>58,000人</td> <td>46,106人</td> <td>79.5%</td> <td>R4</td> <td>80,000人</td> <td>77,563人</td> <td>97.0%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>58,000人</td> <td>41,662人</td> <td>71.8%</td> <td>R5</td> <td>80,000人</td> <td>83,638人</td> <td>104.5%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【令和4年4月3日公開開始】</td> <td colspan="4">【令和3年7月18日公開開始】</td> </tr> </table>				【震災遺構門脇小学校】				【震災遺構大川小学校】				年度	成果指標		達成率	年度	成果指標		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R4	58,000人	38,957人	67.2%	R3	45,000人	49,245人	109.4%	R5	58,000人	46,106人	79.5%	R4	80,000人	77,563人	97.0%	R6	58,000人	41,662人	71.8%	R5	80,000人	83,638人	104.5%	【令和4年4月3日公開開始】				【令和3年7月18日公開開始】			
【震災遺構門脇小学校】				【震災遺構大川小学校】																																																					
年度	成果指標		達成率	年度	成果指標		達成率																																																		
	目標値	実績			目標値	実績																																																			
R4	58,000人	38,957人	67.2%	R3	45,000人	49,245人	109.4%																																																		
R5	58,000人	46,106人	79.5%	R4	80,000人	77,563人	97.0%																																																		
R6	58,000人	41,662人	71.8%	R5	80,000人	83,638人	104.5%																																																		
【令和4年4月3日公開開始】				【令和3年7月18日公開開始】																																																					
成果に係る評価		<p>震災遺構で「語り部育成」や「防災学習」などのプログラムを実施したほか、「企画展」や「3.11関連行事」などの取り組みによる誘客に努めたが、震災遺構への来訪者は、2つの遺構とも前年度と比較し大きく減少した。</p> <p>ホームページやSNS等を活用した情報発信、観光やインバウンド需要を意識した広報等を行うとともに、企業研修や教育旅行の誘致など関係機関等と連携した取り組みを行い、来訪者の増加を図りたい。</p> <p>震災から14年が経過し、記憶の風化が懸念される中、震災の経験と教訓を伝え続けることは重要であり、2つの震災遺構を活用し、伝承活動団体等との連携により次世代の伝承活動の担い手育成を図っていくためにも、事業を継続する必要がある。</p>																																																							
（単位：円）																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	53,907,000	53,074,354			52,283,102	791,252																																																			

予算科目	2 款	総務費	事業名	窓口業務民間委託事業																																													
	3 項	戸籍住民基本台帳費	総合計画	第 6 章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち																																												
	1 目	戸籍住民基本台帳費		第 1 節	市民に寄り添い信頼される行政運営の推進																																												
	事業	窓口証明関係費		(4)	市民サービスの利便性の向上を図る																																												
担当部課	市民生活部市民課	実施計画掲載ページ		P109																																													
目的及び事業内容		<p>1 目的 市民課窓口業務の一部を専門知識を有する民間業者に委託することにより、窓口業務の効率化及び市民サービスの向上を図る。</p> <p>2 事業内容 (1) 証明書発行業務 (2) 印鑑登録 (3) 住基異動入力業務 (4) 個人番号カード関係業務 (5) フロア案内業務 (6) 電話対応業務</p>																																															
取組実績		<p>石巻市市民課窓口業務民間委託事業</p> <p>1 委託先： ㈱NTTネクシア 東北支店 2 委託期間： 令和4年8月1日～令和7年7月31日 3年間 3 委託料： 令和6年度 55,705,628円（総額：149,205,628円） 4 委託業務内容及び取扱件数</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>窓口</th> <th>公用</th> <th>郵便</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>通数（件数）</th> <th>通数</th> <th>通数</th> <th>通数（件数）</th> </tr> <tr> <td>証明書発行業務</td> <td>34,599</td> <td>20,079</td> <td>15,444</td> <td>70,122</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録</td> <td>1,993</td> <td></td> <td></td> <td>1,993</td> </tr> <tr> <td>住基異動入力業務</td> <td>6,165</td> <td></td> <td></td> <td>6,165</td> </tr> <tr> <td>個人番号カード関係業務</td> <td>6,983</td> <td></td> <td></td> <td>6,983</td> </tr> <tr> <td>フロア案内業務（件数）</td> <td>9,839</td> <td></td> <td></td> <td>9,839</td> </tr> <tr> <td>電話対応業務（件数）</td> <td>4,406</td> <td></td> <td></td> <td>4,406</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>63,985</td> <td>20,079</td> <td>15,444</td> <td>99,508</td> </tr> </table> <p>※個人番号カード関係業務は個人番号カード券面記載事項変更・電子証明書更新・暗証番号再設定</p>				項目	窓口	公用	郵便	合計	通数（件数）	通数	通数	通数（件数）	証明書発行業務	34,599	20,079	15,444	70,122	印鑑登録	1,993			1,993	住基異動入力業務	6,165			6,165	個人番号カード関係業務	6,983			6,983	フロア案内業務（件数）	9,839			9,839	電話対応業務（件数）	4,406			4,406	合 計	63,985	20,079	15,444	99,508
項目	窓口	公用	郵便	合計																																													
	通数（件数）	通数	通数	通数（件数）																																													
証明書発行業務	34,599	20,079	15,444	70,122																																													
印鑑登録	1,993			1,993																																													
住基異動入力業務	6,165			6,165																																													
個人番号カード関係業務	6,983			6,983																																													
フロア案内業務（件数）	9,839			9,839																																													
電話対応業務（件数）	4,406			4,406																																													
合 計	63,985	20,079	15,444	99,508																																													
成果		<p>民間委託により、専門知識を有する人材が常に確保されていることから、人事異動や繁忙期においても常に安定した窓口サービスを提供できた。また、民間事業者職員の窓口業務に関するスキルや接遇の向上により、窓口サービスの質の維持向上が図られた。</p> <p>窓口業務アンケート調査結果（令和6年度） 実施回数：2回（令和6年7月1日～令和6年7月19日）及び（令和7年2月2日～令和7年2月28日） 調査件数：300件（1回当たり150件） アンケート項目と結果</p> <table border="1"> <tr> <td>挨拶/返事</td> <td>良い・やや良い</td> <td>87.7%</td> <td>普通</td> <td>12.0%</td> <td>やや悪い・悪い</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>わかりやすい</td> <td>わかりやすい</td> <td>88.7%</td> <td>普通</td> <td>11.3%</td> <td>ややわかりにくい</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>説明</td> <td>ややわかりやすい</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>わかりにくい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>言葉遣い/態度</td> <td>良い・やや良い</td> <td>90.7%</td> <td>普通</td> <td>9.0%</td> <td>やや悪い</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>所要時間</td> <td>10分未満・20分未満</td> <td>79.7%</td> <td>30分未満</td> <td>14.3%</td> <td>1時間未満</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>総合満足度</td> <td>満足・やや満足</td> <td>87.4%</td> <td>普通</td> <td>12.3%</td> <td>やや不満</td> <td>0.3%</td> </tr> </table>				挨拶/返事	良い・やや良い	87.7%	普通	12.0%	やや悪い・悪い	0.3%	わかりやすい	わかりやすい	88.7%	普通	11.3%	ややわかりにくい	0%	説明	ややわかりやすい				わかりにくい		言葉遣い/態度	良い・やや良い	90.7%	普通	9.0%	やや悪い	0.3%	所要時間	10分未満・20分未満	79.7%	30分未満	14.3%	1時間未満	6.0%	総合満足度	満足・やや満足	87.4%	普通	12.3%	やや不満	0.3%		
挨拶/返事	良い・やや良い	87.7%	普通	12.0%	やや悪い・悪い	0.3%																																											
わかりやすい	わかりやすい	88.7%	普通	11.3%	ややわかりにくい	0%																																											
説明	ややわかりやすい				わかりにくい																																												
言葉遣い/態度	良い・やや良い	90.7%	普通	9.0%	やや悪い	0.3%																																											
所要時間	10分未満・20分未満	79.7%	30分未満	14.3%	1時間未満	6.0%																																											
総合満足度	満足・やや満足	87.4%	普通	12.3%	やや不満	0.3%																																											
成果に係る評価		<p>毎年、委託事業者に窓口業務アンケートを依頼し、その結果を基により良い対応ができるよう委託事業者と連携して事務改善につなげており、令和6年度においては、「所要時間」で8割を下回ったものの、その他の項目で8割以上の高評価を得られた。</p> <p>コンビニ交付サービスの普及により、証明書発行等の窓口業務が減少したほか、電話対応業務も減少傾向にある。その反面、個人番号カード関係業務及びフロア案内業務が増大している状況にある。</p> <p>令和7年度から委託先が変更となることから、連携を密にしながら今後も質の高い窓口サービスの提供に努めていく。</p>																																															
（単位：円）																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	55,811,000	55,705,628				55,705,628																																											